

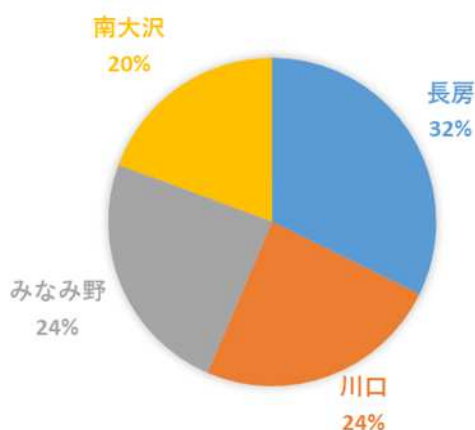
「地域づくり推進基本方針」改定に向けた推進会議参加者アンケート

結果まとめ

<アンケート対象者について>

中学校区	アンケート配布数 (=各推進会議メンバー)	回答人数 (1月8日時点)	回収率 小数点第2位以下切り上げ
長房	23人	20人	87%
川口	20人	15人	75%
みなみ野	18人	15人	83%
南大沢	21人	12人	57%
計	82人	62人	75%

回答人数割合



<アンケート実施について>

以下の日程で、アンケート対象者に実施意図及び結果の活用方法等を説明し、回答を依頼した。

アンケートは、紙でのみ配布（インターネット等の利用なし）し、回答していただいた用紙は、その場で回収もしくは後日郵送していただくこととした。

各推進会議の当日欠席者には、アンケート用紙を個別に郵送、回答を依頼した。

- ・ 令和5年(2023年)12月16日(土) 長房中学校区地域づくり推進会議
- ・ 令和5年(2023年)12月9日(土) 川口中学校区地域づくり推進会議
- ・ 令和5年(2023年)12月2日(土) みなみ野中学校区地域づくり推進会議
- ・ 令和5年(2023年)12月16日(土) 南大沢中学校区地域づくり推進会議

<結果まとめ、分析について>

今後も未回収分の回収を行っていく。

また、今回の結果まとめや地域づくり推進基本方針懇談会でいただいた意見をもとにさらに分析をすすめて、今後の基本方針改定作業に生かしていく。

以降、設問及び結果

あなた自身のことについて（属性）

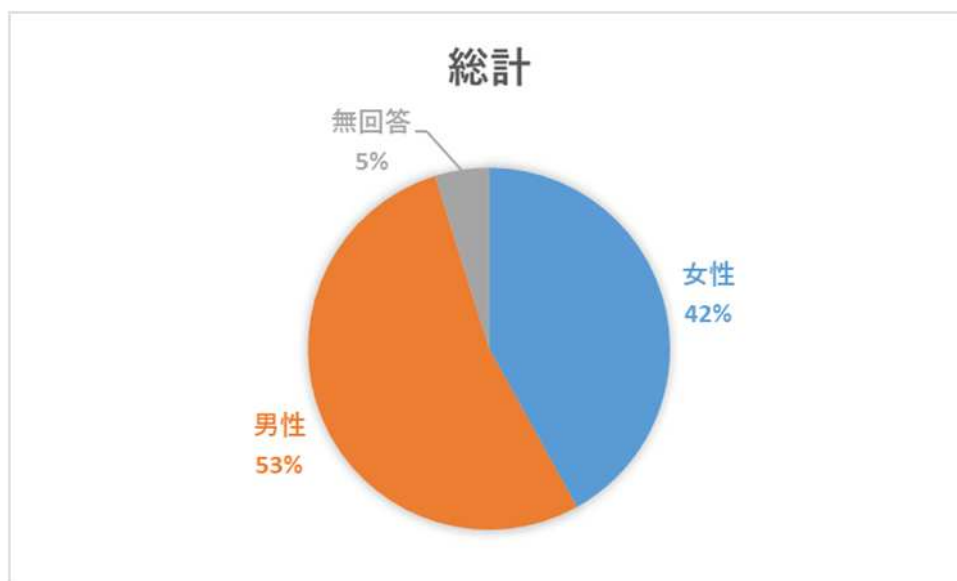
（１）あなたの性別は、次のどれですか。（は１つだけ）

男性 女性 あてはまらない

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
女性	8	6	8	4	26
男性	10	8	7	8	33
無回答	2	1	0	0	3
総計	20	15	15	12	62

単位：人（回答者数） 以降の表においても同様



➤ 回答者の男女比率は概ね半々となっている。

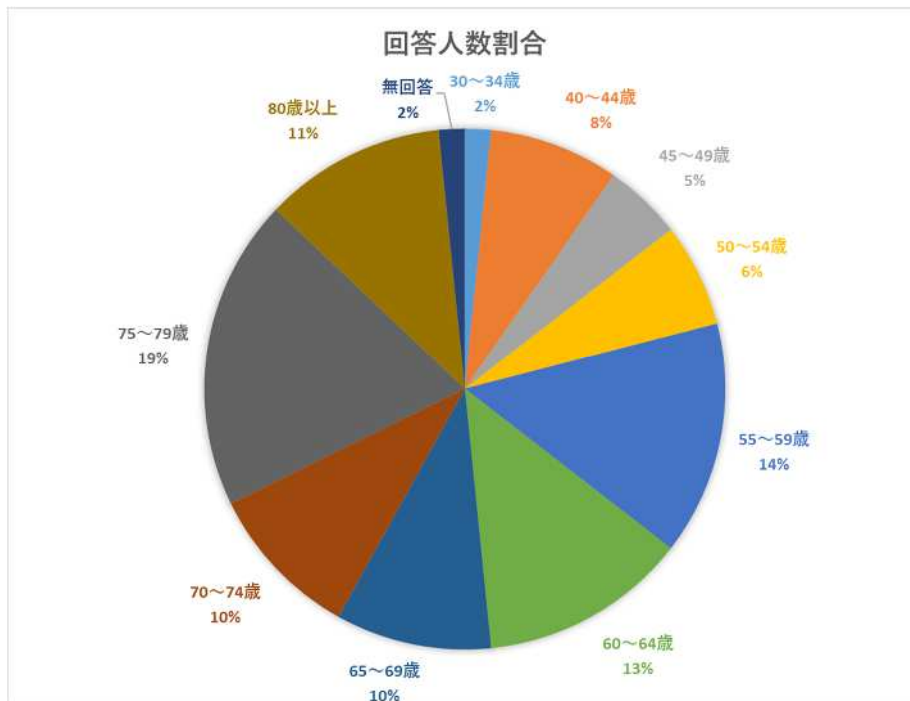
各設問に対する結果の特徴を記載しています。

(2) あなたは、現在何歳ですか。(は1つだけ)

18～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳
65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
30～34歳	0	0	0	1	1
40～44歳	4	0	0	1	5
45～49歳	0	2	0	1	3
50～54歳	1	1	1	1	4
55～59歳	2	2	4	1	9
60～64歳	1	1	4	2	8
65～69歳	3	1	1	1	6
70～74歳	1	2	2	1	6
75～79歳	3	4	2	3	12
80歳以上	5	1	1	0	7
無回答	0	1	0	0	1
総計	20	15	15	12	62



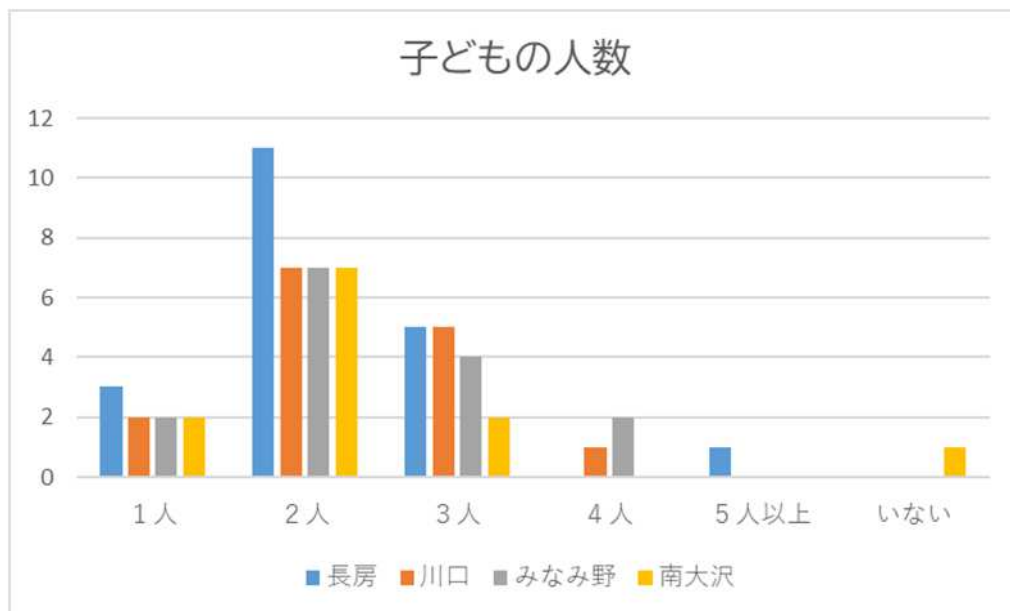
- 全体として、65歳以上の高齢者が約半分を占めている。
- 20代以下の参加者は見られず、続く30代、40代の参加者も、人数で見ると高齢者に対し少ないことがうかがえる。

(3) お子さんは何人いらっしゃいますか。同居・別居は問いません。(は1つだけ)

いない					
1人	2人	3人	4人	5人以上	

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1人	3	2	2	2	9
2人	11	7	7	7	32
3人	5	5	4	2	16
4人	0	1	2	0	3
5人以上	1	0	0	0	1
いない	0	0	0	1	1
総計	20	15	15	12	62



- 全体として2人が最も多く、次いで3人が多い。
- 「いない」と回答した人は、62人中1人しかいなかった。
- 推進会議をはじめとした地域活動には、出産・子育てを契機に地域とのつながりを持つことをきっかけにして参加する方が多いことが推察できる。
- 一方で、実際に子どもがいない方の参加が非常に少ないことから、このような方々をどのように誘い込むかは今後の課題であると言える。

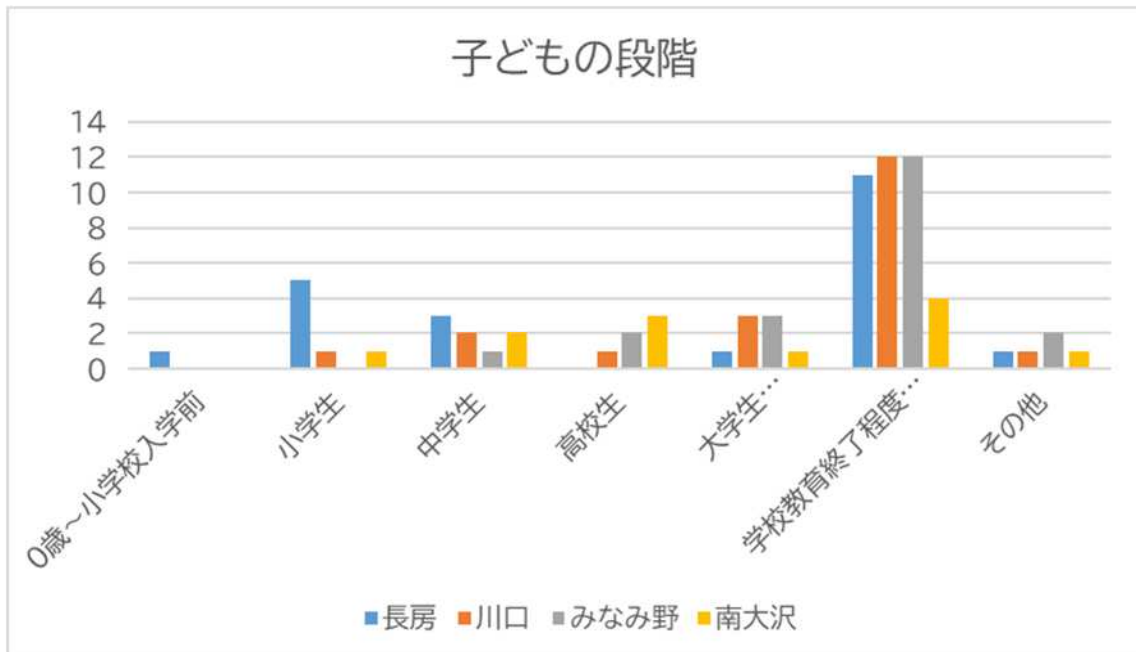
各設問に対する結果の特徴から考えられることを考察として加えています。

【「1人」から「5人以上」を選択した方にお伺いします。】お子さんは、次のどの段階に当てはまりますか。(はいくつでも)

0歳～小学校入学前	小学生
中学生	高校生
大学生(大学院・専門学校等を含む)	学校教育終了(成人・社会人など)
その他	

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
0歳～小学校入学前	1	0	0	0	1
小学生	5	1	0	1	7
中学生	3	2	1	2	8
高校生	0	1	2	3	6
大学生 (大学院・専門学校を含む)	1	3	3	1	8
学校教育終了程度 (成人・社会人など)	11	12	12	4	39
その他	1	1	2	1	5



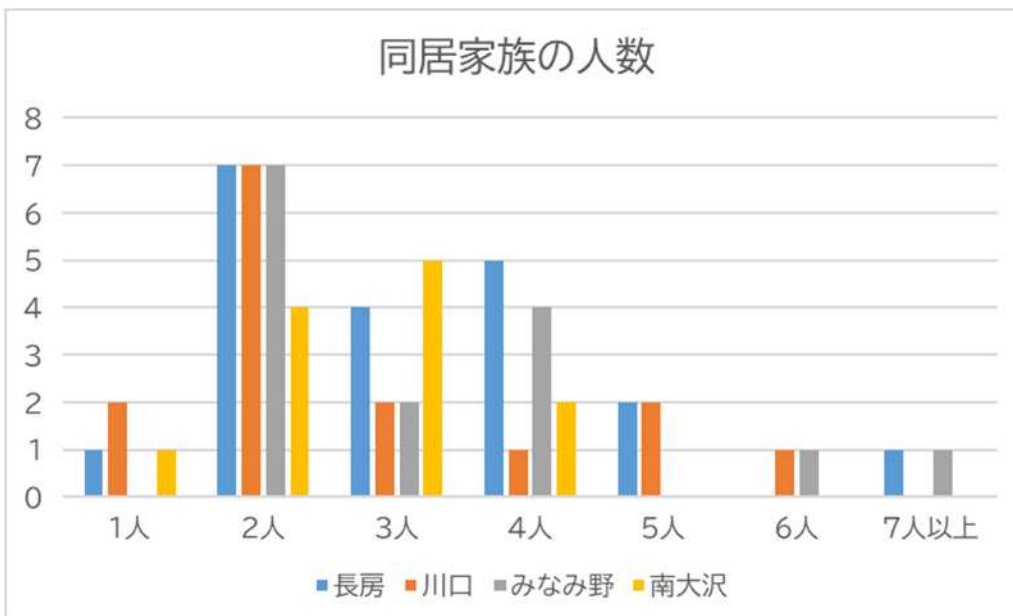
- 全体として、「学校教育終了程度(成人・社会人など)」が最も多い。
- 子どもが高校や大学を卒業して、子育てがある程度落ち着いたタイミングで時間的な余裕が生まれたことにより、推進会議へ参加していただいている方が多いのではないかと考えられる。

(4) 現在、一緒に暮らしているご家族は、あなたを含めて何人ですか。(**は1つだけ**)

1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上
----	----	----	----	----	----	------

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1人	1	2	0	1	4
2人	7	7	7	4	25
3人	4	2	2	5	13
4人	5	1	4	2	12
5人	2	2	0	0	4
6人	0	1	1	0	2
7人以上	1	0	1	0	2
総計	20	15	15	12	62



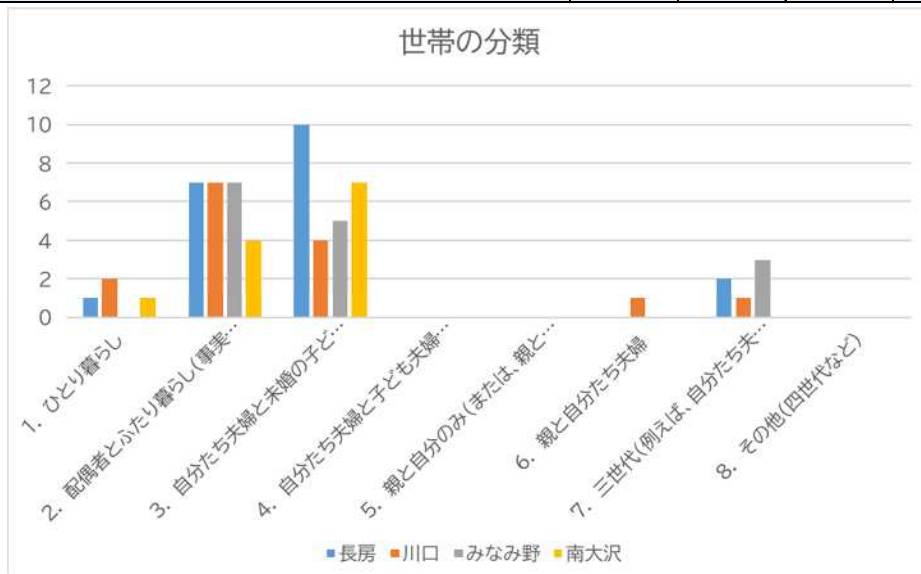
- 全体として、2人が最も多く、次いで3人と4人がほぼ同数が多い。
- ひとり暮らしの方は、各地区に1～2人程度しかいない。
同居家族の構成は、次問で調査している。

(5) あなたの世帯は、次のように分類した場合、どれにあたりますか。(**は1つだけ**)

- | | |
|---|----------------------------------|
| 1 | ひとり暮らし |
| 2 | 配偶者とふたり暮らし(事実婚を含む) |
| 3 | 自分たち夫婦と未婚の子ども(または、自分と未婚の子ども) |
| 4 | 自分たち夫婦と子ども夫婦(または、自分と子ども夫婦) |
| 5 | 親と自分のみ(または、親と自分と兄弟・姉妹など) |
| 6 | 親と自分たち夫婦 |
| 7 | 三世代(例えば、自分たち夫婦と子どもと孫、親と自分と子どもなど) |
| 8 | その他(四世代など) |

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1. ひとり暮らし	1	2	0	1	4
2. 配偶者とふたり暮らし(事実婚を含む)	7	7	7	4	25
3. 自分たち夫婦と未婚の子ども(または、自分と未婚の子ども)	10	4	5	7	26
4. 自分たち夫婦と子ども夫婦(または、自分と子ども夫婦)	0	0	0	0	0
5. 親と自分のみ(または、親と自分と兄弟・姉妹など)	0	0	0	0	0
6. 親と自分たち夫婦	0	1	0	0	1
7. 三世代(例えば、自分たち夫婦と子どもと孫、親と自分と子どもなど)	2	1	3	0	6
8. その他(四世代など)	0	0	0	0	0
総計	20	15	15	12	62



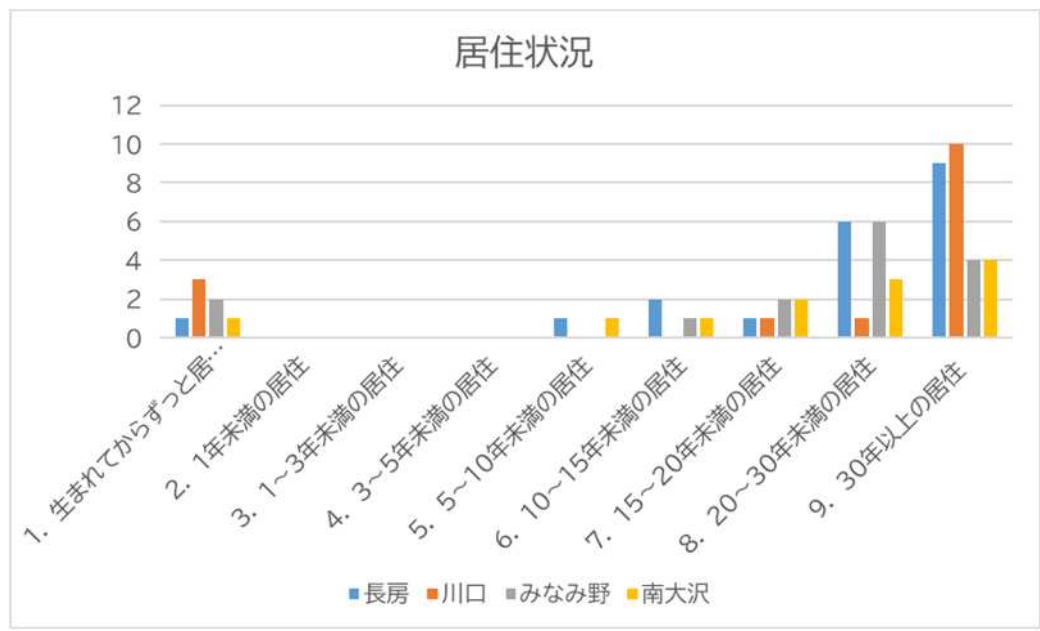
- 全体として、「2. 配偶者とふたり暮らし(事実婚を含む)」と「3. 自分たち夫婦と未婚の子ども(または、自分と未婚の子ども)」が、ほぼ同数で多い。
- 子どもの人数、段階を調査した設問の回答と合わせて推察すると、出産・子育てが落ち着いた夫婦で暮らす方々に、推進会議に数多く参加していただいているのではないかと考えられる。
- 一方で、ひとり暮らしの方々の参加は少ない。地域のつながりをつくる地域づくりの取組は、孤立・孤独を感じるひとり暮らし高齢者の方々が重要なターゲットの一つである。このような方々を、どのように誘い込んでいくかは、大きな課題であるといえる。

(6) あなたの八王子市での通算の居住状況を教えてください。(は1つだけ)

- | | | | |
|---|---------------------------------------|---|-------------|
| 1 | 生まれてからずっと居住している(年数に関わらず該当者は選択してください。) | | |
| 2 | 1年未満の居住 | | |
| 3 | 1～3年未満の居住 | 4 | 3～5年未満の居住 |
| 5 | 5～10年未満の居住 | 6 | 10～15年未満の居住 |
| 7 | 15～20年未満の居住 | 8 | 20～30年未満の居住 |
| 9 | 30年以上の居住 | | |

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1. 生まれてからずっと居住している	1	3	2	1	7
2. 1年未満の居住	0	0	0	0	0
3. 1～3年未満の居住	0	0	0	0	0
4. 3～5年未満の居住	0	0	0	0	0
5. 5～10年未満の居住	1	0	0	1	2
6. 10～15年未満の居住	2	0	1	1	4
7. 15～20年未満の居住	1	1	2	2	6
8. 20～30年未満の居住	6	1	6	3	16
9. 30年以上の居住	9	10	4	4	27
総計	20	15	15	12	62



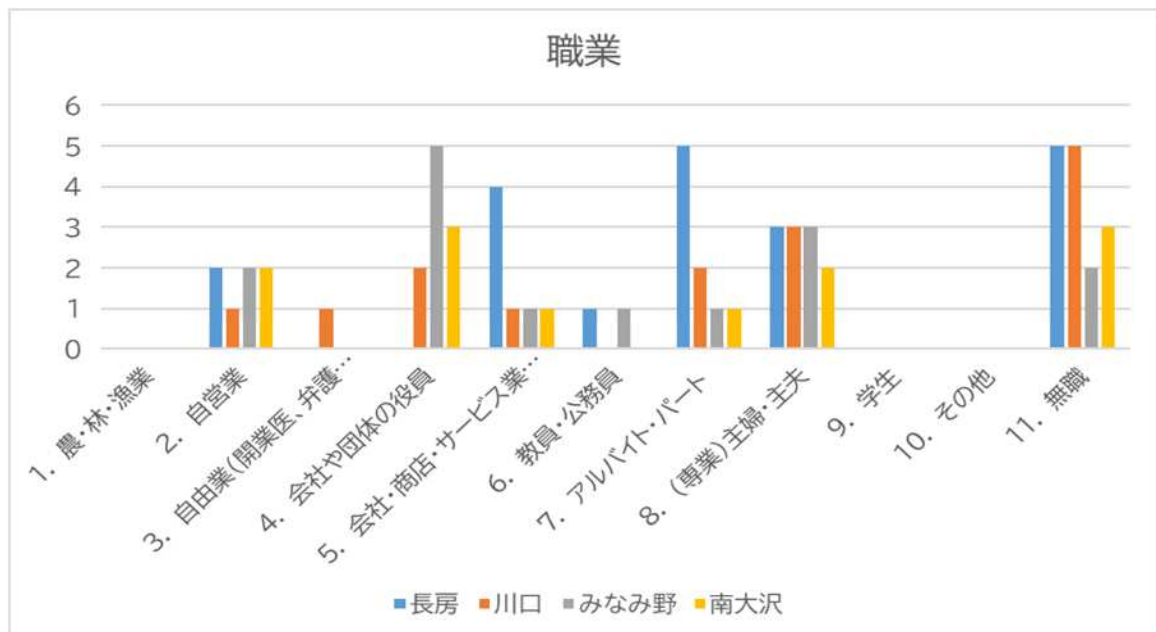
- 5年未満の居住者による推進会議への参加はなかった。
- 30年以上の居住が最多、次いで20～30年以上、15～20年以上と段階的になっており、「生まれてからずっと居住している」と回答している方も7名いる。
- 居住年数が少ない住民は、推進会議に参加しない・しにくいという仮説が立てられる。(ただし、立証や原因については、更なる調査が必要。)

(7) あなたのご職業は、次のどれにあたりますか。(**は1つだけ**)

1 農・林・漁業	2 自営業
3 自由業(開業医、弁護士、司法書士など)	4 会社や団体の役員
5 会社・商店・サービス業などの勤め人	6 教員・公務員
7 アルバイト・パート	
8 (専業)主婦・主夫	9 学生
10 その他	11 無職

【中学校区ごとの回答集計結果】

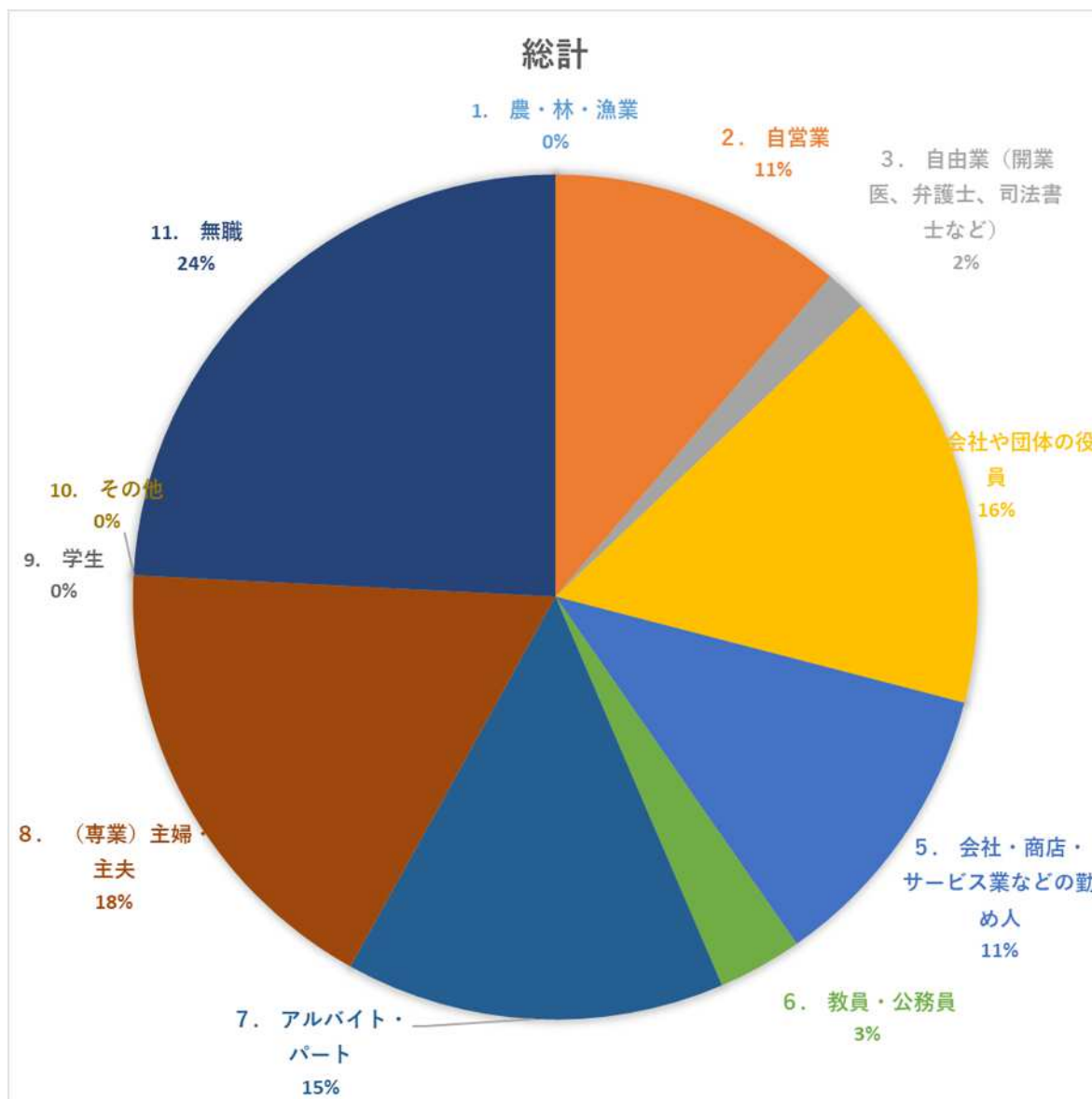
選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1. 農・林・漁業	0	0	0	0	0
2. 自営業	2	1	2	2	7
3. 自由業(開業医、弁護士、司法書士など)	0	1	0	0	1
4. 会社や団体の役員	0	2	5	3	10
5. 会社・商店・サービス業などの勤め人	4	1	1	1	7
6. 教員・公務員	1	0	1	0	2
7. アルバイト・パート	5	2	1	1	9
8. (専業)主婦・主夫	3	3	3	2	11
9. 学生	0	0	0	0	0
10. その他	0	0	0	0	0
11. 無職	5	5	2	3	15
総計	20	15	15	12	62



➤ 無職が最も多く、次いで(専業)主婦・主夫となっており、両者を合計すると全体の約4割を占める。(次ページに円グラフあり)

- 年齢構成と総合して考慮すると、推進会議には、リタイヤ後の方々に多く参加していただいているものと思料する。

【職業ごとの回答割合】

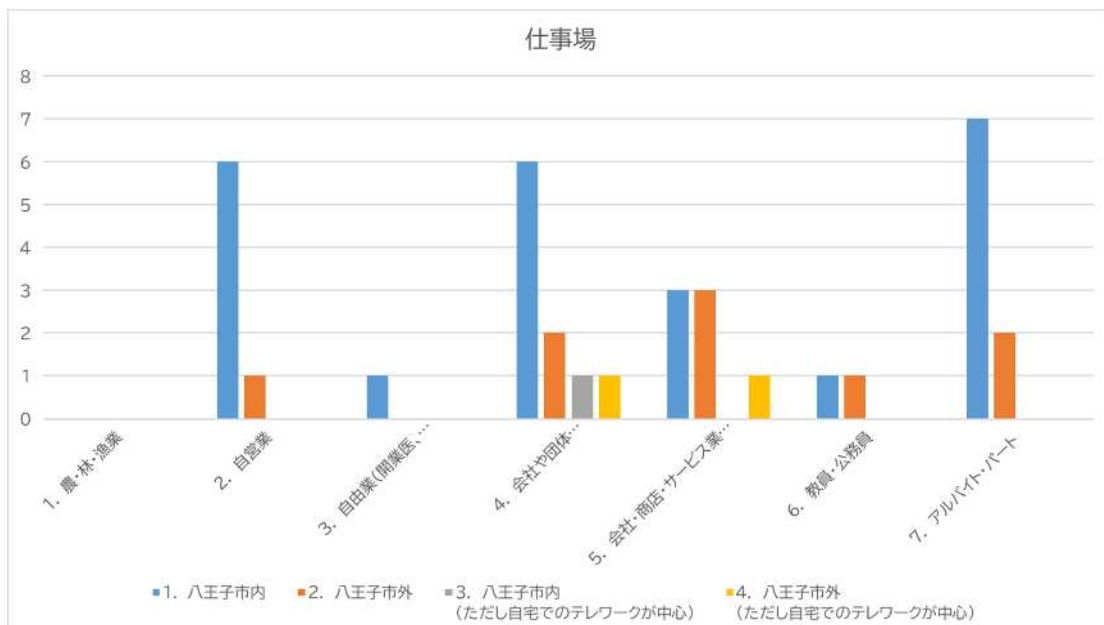


【1から7を選択した方にお伺いします。】あなたの仕事場は、次のどちらにあたりますか。(は1つだけ)

1 八王子市内	2 八王子市外
3 八王子市内(ただし自宅でのテレワークが中心)	
4 八王子市外(ただし自宅でのテレワークが中心)	

【職業ごとの回答集計結果】

選択肢	1. 農・林・漁業	2. 自営業	3. 自由業(開業医、 弁護士、司法書士など)	4. 会社や団体の 役員	5. 会社・商店・サービス業 などの勤め人	6. 教員・公務員	7. アルバイト・パート	総計
1. 八王子市内	0	6	1	6	3	1	7	24
2. 八王子市外	0	1	0	2	3	1	2	9
3. 八王子市内 (ただし自宅でのテレワークが中心)	0	0	0	1	0	0	0	1
4. 八王子市外 (ただし自宅でのテレワークが中心)	0	0	0	1	1	0	0	2
総計	0	7	1	10	7	2	9	36



中学校区別ではなく全体で分析

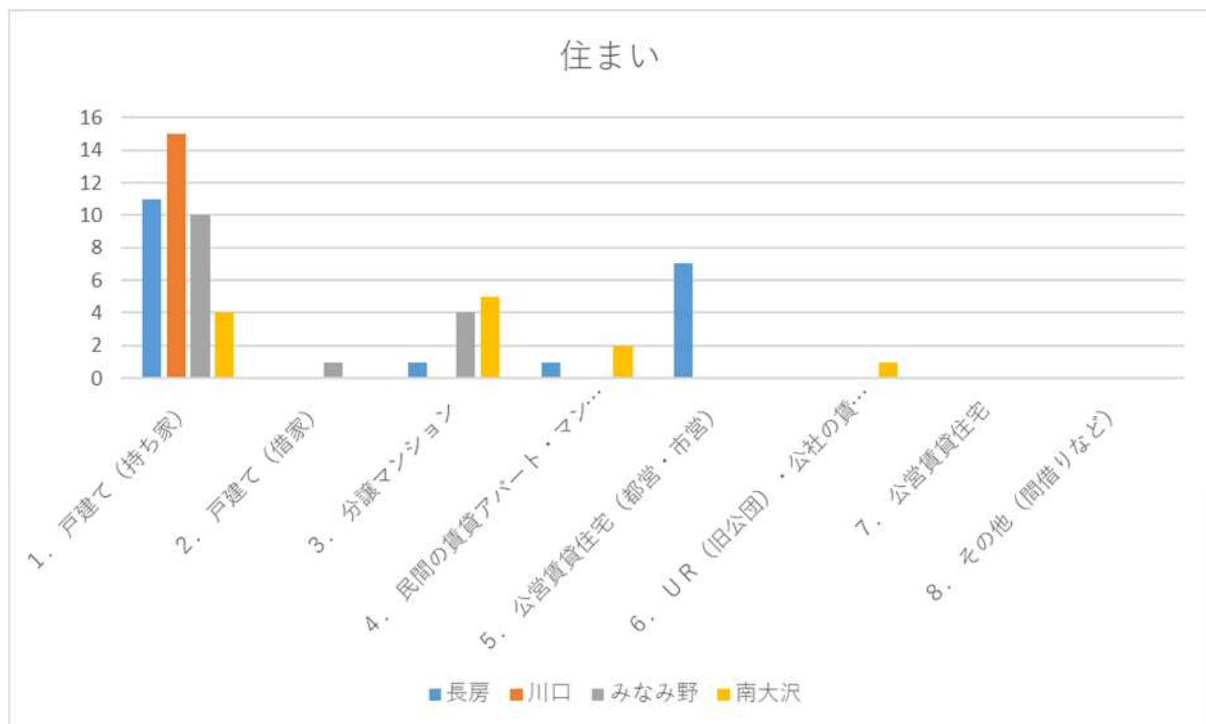
- 八王子市内が最も多い。
- 市内市外に関わらず、テレワークは「会社や団体の役員」、「会社・商店・サービス業などの勤め人」の職業のみに見られる。
- 社会におけるテレワークの浸透度合い等の要因も考慮する必要があるが、テレワークの有無と推進会議をはじめとした地域活動への参加の関係性については、さらなる調査・研究が必要である。

(8) あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。(**は1つだけ**)

1 戸建て(持ち家)	2 戸建て(借家)
3 分譲マンション	4 民間の賃貸アパート・マンション
5 公営賃貸住宅(都営・市営)	6 UR(旧公団)・公社の賃貸住宅又は都民住宅
7 社宅・官舎・寮	8 その他(間借りなど)

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1. 戸建て(持ち家)	11	15	10	4	40
2. 戸建て(借家)	0	0	1	0	1
3. 分譲マンション	1	0	4	5	10
4. 民間の賃貸アパート・マンション	1	0	0	2	3
5. 公営賃貸住宅(都営・市営)	7	0	0	0	7
6. UR(旧公団)・公社の賃貸住宅又は都民住宅	0	0	0	1	1
7. 公営賃貸住宅	0	0	0	0	0
8. その他(間借りなど)	0	0	0	0	0
総計	20	15	15	12	62



- 全体として、「戸建て(持ち家)」が最も多い。
- 「公営賃貸住宅(都営・市営)」は、長房中学校区にのみ該当がある。
- みなみ野、南大沢においては「分譲マンション」も一定数回答があった。

設問

(1) あなたが参加する推進会議を以下から選択してください。(**は1つだけ**)

1 長房	2 川口	3 みなみ野	4 南大沢
------	------	--------	-------

➤ 表紙「アンケート対象者について」参照

(2) あなたが推進会議に参加した理由のうち、もっとも大きいもの(=一番のモチベーション)は何ですか。(**は1つだけ**)

1 自分の興味・関心から
2 家族や友人の勧め・誘い
3 子どもや家族のため
4 町会・自治会や各種地域団体からの依頼
5 職場からの依頼
6 その他
その他：

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1. 自分の興味・関心から	5	1	5	5	16
2. 家族や友人の勧め・誘い	0	0	1	0	1
3. 子どもや家族のため	0	0	0	1	1
4. 町会・自治会や各種地域団体からの依頼	14	13	9	5	41
5. 職場からの依頼	0	0	0	0	0
6. その他	1	1	0	1	3
総計	20	15	15	12	62

- 全体として、「町会・自治会や各種地域団体からの依頼」がもっとも多く、次いで「自分の興味・関心から」が多い。
- 川口中学校区においては、ほぼすべての方々が「町会・自治会や各種地域団体からの依頼」と回答している。(15人中13名)
- 回答結果からは、推進会議への参加が、依然として町会・自治会や各種地域団体などの推薦に頼っており、個人の興味・関心や家族・友人の勧め・誘いなど、地域の方々の「おもしろそうな取組だ」「参加してみたい」といった自発的な動機、モチベーションへのコミットには至っていないということが読み取られる。
- なお、「その他」3件の記載内容は、次のとおり。

・ 高齢化と人口減少と働き方改革による地域の自治をどうするか、検討したいと考えたため
・ 所属する団体からお勧めされて
・ 地域のため

(3) あなたは、八王子市の地域づくりの取組をどのようにお考えですか。また、その理由について、あなたの考えを記入してください。(**は1つだけ**)

1 期待できる取組である	2 あまり期待できる取組ではない
3 分からない	
【理由】	

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1. 期待できる取組である	12	10	11	10	43
2. あまり期待できる取組ではない	1	3	2	0	6
3. 分からない	6	2	1	2	11
無回答	1	0	1	0	2
総計	20	15	15	12	62

- 全体として、「期待できる取組である」が多い。
- 長房中学校区においては、20人のうち6人が「わからない」と回答していることが特徴的である。
- なお、理由欄に回答された内容は、以下のような内容であった。(一部掲載)

<p><期待できる取組である></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の住む地域を見つめ直す機会にもなっている。この活動の認知度が高くなると良い ・ 高齢化や少子化が進みいろいろな解決すべき諸問題が発生しており、タイムリーな取組と感 じる ・ 地域と行政の対話の接点という新たな機能が生まれる ・ 様々な立場や年齢の方の意見が交換でき、検討・反映に繋がる可能性が大きい取組 ・ 地域の特徴・魅力を共有し、発信して発展できる <p><あまり期待できる取組ではない></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本方針はわかるが、それを実現するための予算がない ・ <u>行政の本気度が感じて(伝わって)こない</u> <p><わからない></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>話し合いは良いが、結論(ゴール)が分からない</u> ・ 地域の現状分析が不十分 ・ 予算がなく限界を感じるため

(4) あなたは、推進会議設置から2年近くが経過した地域の状況について、どのように感じていますか。下記のア～オのそれぞれの項目について、推進会議内の状況と地域への広がりの両面からあなたの感じ方に近いものを選んでください。(**は1つだけ**)

	推進会議内の状況	地域への広がり
ア 地域情報の共有・意見交換が盛んになりつつある	1 とても感じる 2 やや感じる 3 あまり感じない 4 全く感じない	1 とても感じる 2 やや感じる 3 あまり感じない 4 全く感じない
イ 地域の輪が広がり、地域活動への参加が増加しつつある	1 とても感じる 2 やや感じる 3 あまり感じない 4 全く感じない	1 とても感じる 2 やや感じる 3 あまり感じない 4 全く感じない
ウ 行政との連携・調整が進んできている	1 とても感じる 2 やや感じる 3 あまり感じない 4 全く感じない	1 とても感じる 2 やや感じる 3 あまり感じない 4 全く感じない
エ 地域の担い手の発見や掘り起こしにつながっている	1 とても感じる 2 やや感じる 3 あまり感じない 4 全く感じない	1 とても感じる 2 やや感じる 3 あまり感じない 4 全く感じない
オ 地域の魅力や課題に関心を持つようになってきている	1 とても感じる 2 やや感じる 3 あまり感じない 4 全く感じない	1 とても感じる 2 やや感じる 3 あまり感じない 4 全く感じない

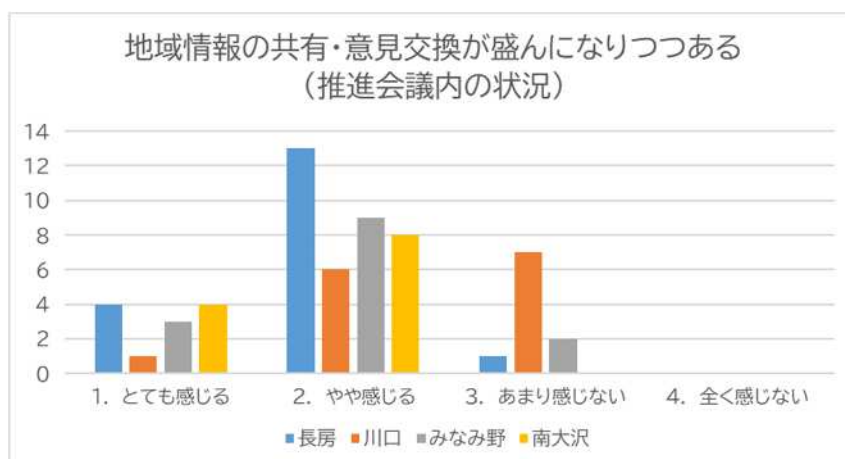
(結果は次ページ以降に掲載)

(4) - ア 地域情報の共有・意見交換が盛んになりつつある

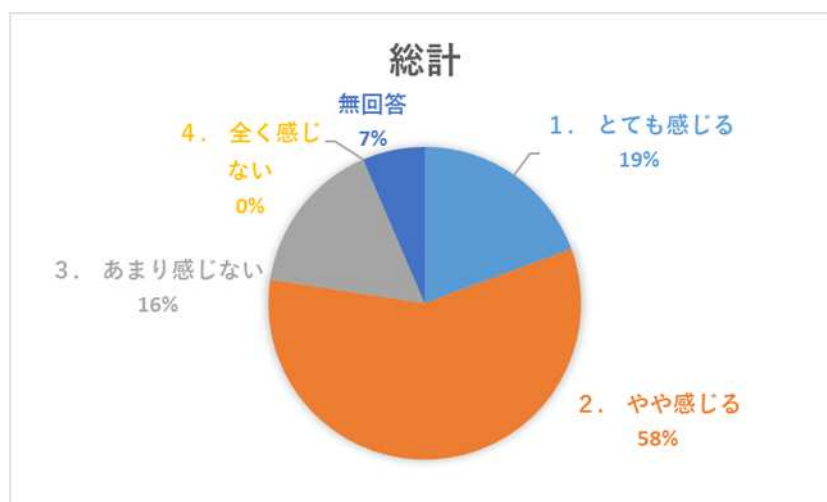
推進会議内の状況

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1. とても感じる	4	1	3	4	12
2. やや感じる	13	6	9	8	36
3. あまり感じない	1	7	2	0	10
4. 全く感じない	0	0	0	0	0
無回答	2	1	1	0	4
総計	20	15	15	12	62



【それぞれの回答割合 (4 中学校区合計)】

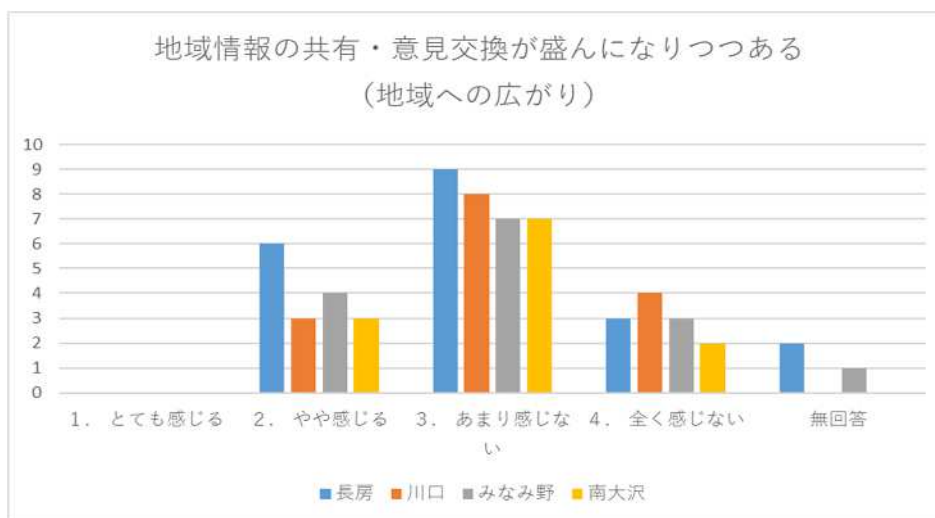


- 全体として、「とても感じる」、「やや感じる」の計が 62 人中 48 人、割合として 77% を占める。
- 川口に中学校区においては、「とても感じる」及び「やや感じる」と、「あまり感じない」の回答が同数となっており、地域情報の共有・意見交換が不十分であると感じている方々が多いと考えられる。
- 「あまり感じない」について、みなみ野中学校区 2 人、南大沢中学校区 0 人であり、推進計画の策定プロセスが地域情報の共有・意見交換につながった可能性を示唆している。

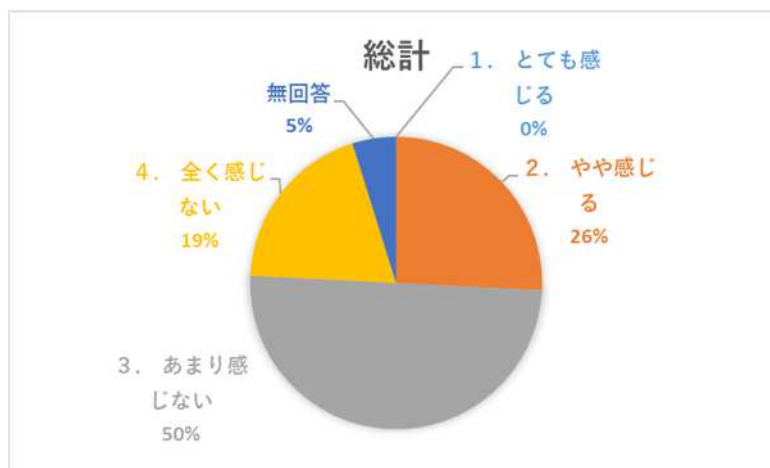
地域への広がり

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1. とても感じる	0	0	0	0	0
2. やや感じる	6	3	4	3	16
3. あまり感じない	9	8	7	7	31
4. 全く感じない	3	4	3	2	12
無回答	2	0	1	0	3
総計	20	15	15	12	62



【それぞれの回答割合（4中学校区合計）】



- 全体として、「あまり感じない」、「全く感じない」の計が62人中43人、割合として69%を占める。
- 「やや感じる」は62人中16人、割合として26%を占め、「とても感じる」という回答はなかった。

<(4)アの と を比較して>

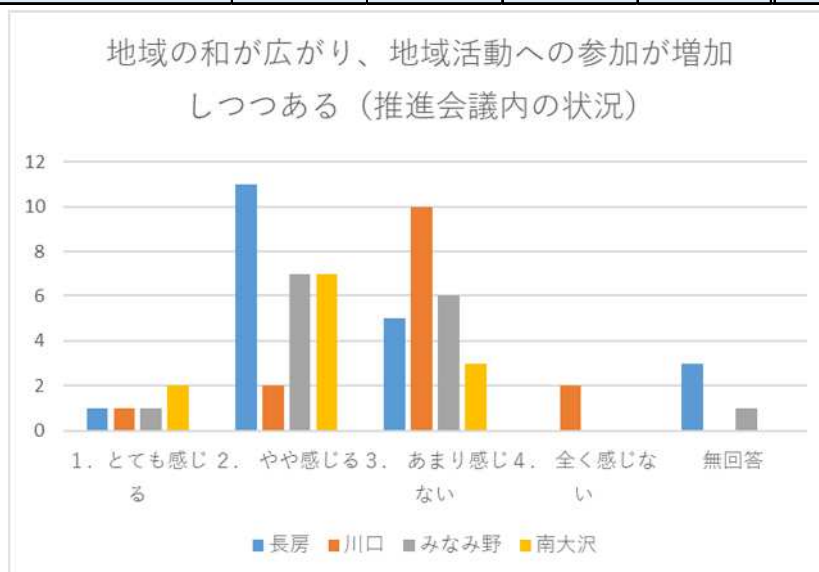
推進会議内においては、地域情報の共有・意見交換が少しずつ盛んになっているが、地域への広がりに関しては、参加者の方々においても、なかなか感じにくい状況にある。

(4) - イ 地域の輪が広がり、地域活動への参加が増加しつつある

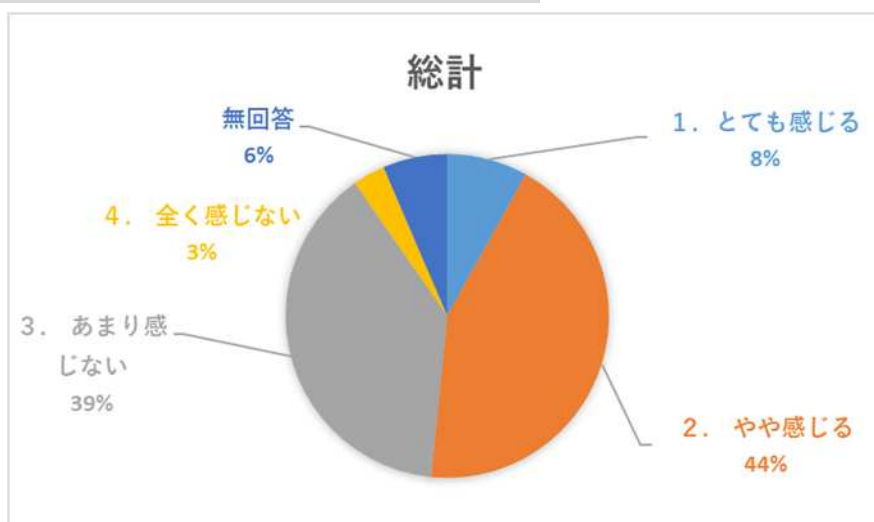
推進会議内の状況

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1. とても感じる	1	1	1	2	5
2. やや感じる	11	2	7	7	27
3. あまり感じない	5	10	6	3	24
4. 全く感じない	0	2	0	0	2
無回答	3	0	1	0	4
総計	20	15	15	12	62



【それぞれの回答割合（4中学校区合計）】

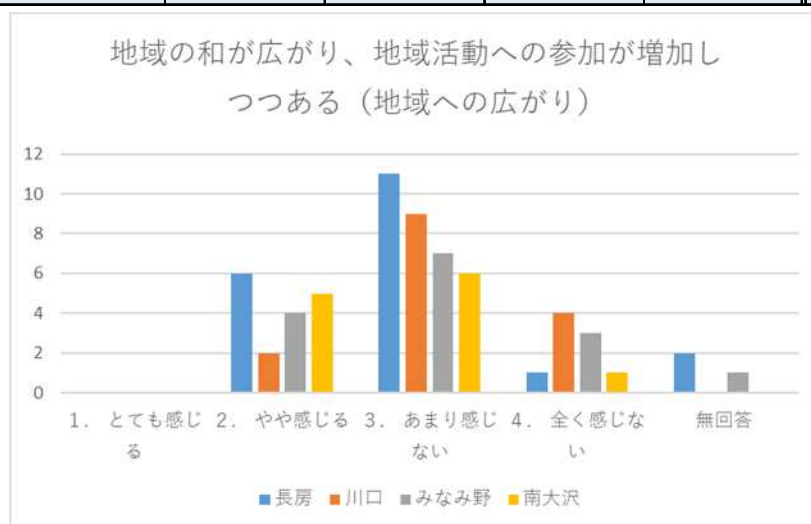


- 全体として、「やや感じる」と「あまり感じない」が大体半々な結果となっている。
- 地域別にみえると、川口中学校区のみ、「あまり感じない」が最も多く、同中学校区においては、「全く感じない」との回答もある。

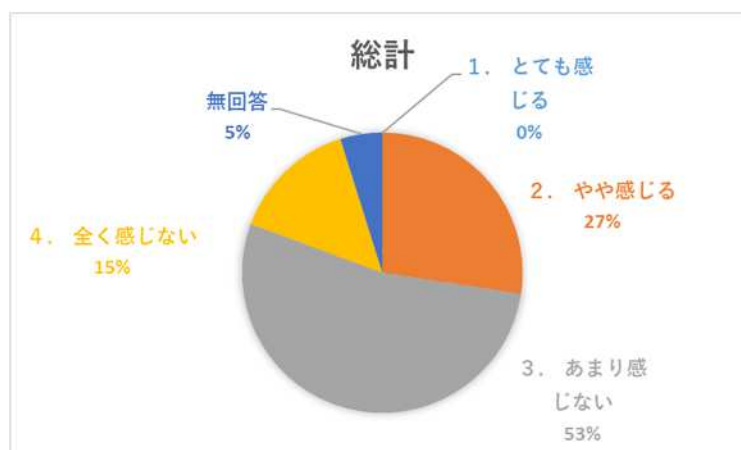
地域への広がり

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1. とても感じる	0	0	0	0	0
2. やや感じる	6	2	4	5	17
3. あまり感じない	11	9	7	6	33
4. 全く感じない	1	4	3	1	9
無回答	2	0	1	0	3
総計	20	15	15	12	62



【それぞれの回答割合（4中学校区合計）】



- 全体として、「あまり感じない」、「全く感じない」の計が62人中42人、割合でいうと68%を占める。
- 「とても感じる」と回答した方は0人である。

<(4)イの と を比較して>

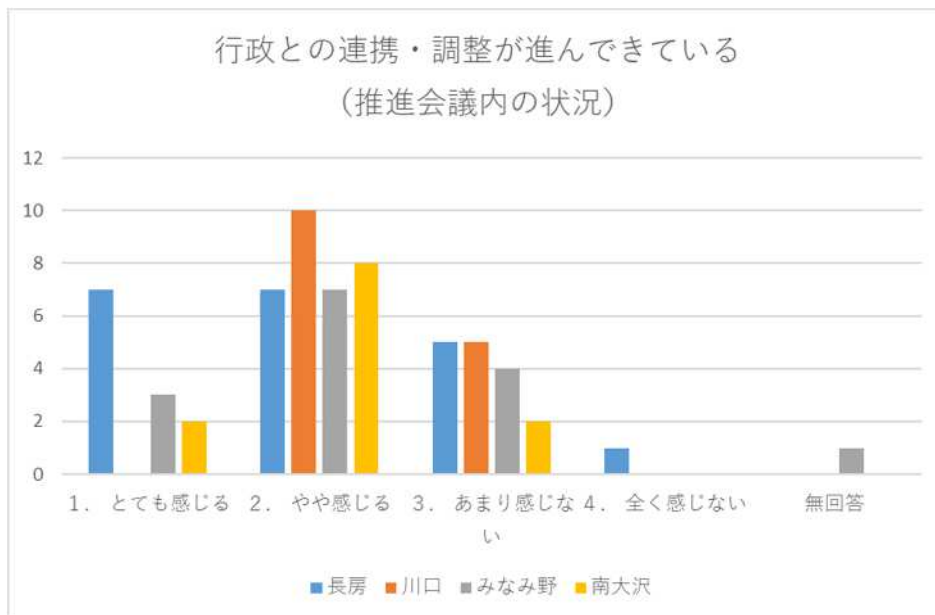
前問の「地域情報の共有・意見交換」と比較して、「地域の輪が広がり、地域活動への参加が増加しつつある」との回答は、全体的に低調である。地域への広がりといった点ではさらに厳しい状況であるが、まずは、推進会議の取組を通じて地域の輪を広げ、地域活動への参加を増やしていくことが重要である。

(4) - ウ 行政との連携・調整が進んできている

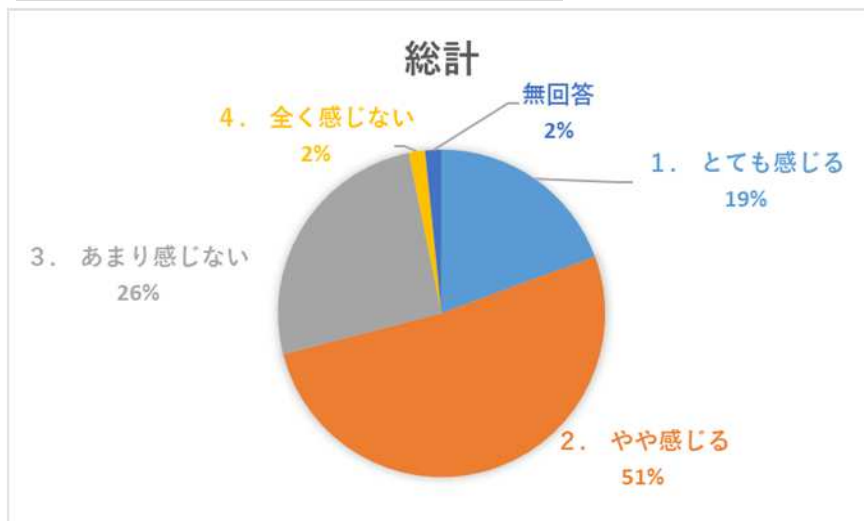
推進会議内の状況

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1. とても感じる	7	0	3	2	12
2. やや感じる	7	10	7	8	32
3. あまり感じない	5	5	4	2	16
4. 全く感じない	1	0	0	0	1
無回答	0	0	1	0	1
総計	20	15	15	12	62



【それぞれの回答割合 (4 中学校区合計)】

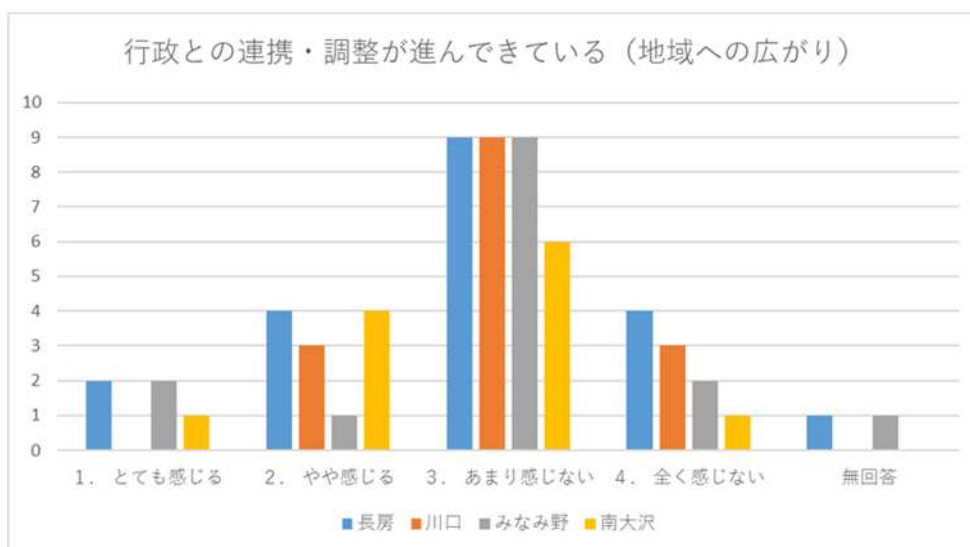


- 全体として、「とても感じる」、「やや感じる」の計が 62 人中 44 人、70%を占める。
- 「あまり感じない」、「全く感じない」の計は 62 人中 17 人、28%にとどまる。
- 川口中学校区のみ、「とても感じる」の回答が無かった。

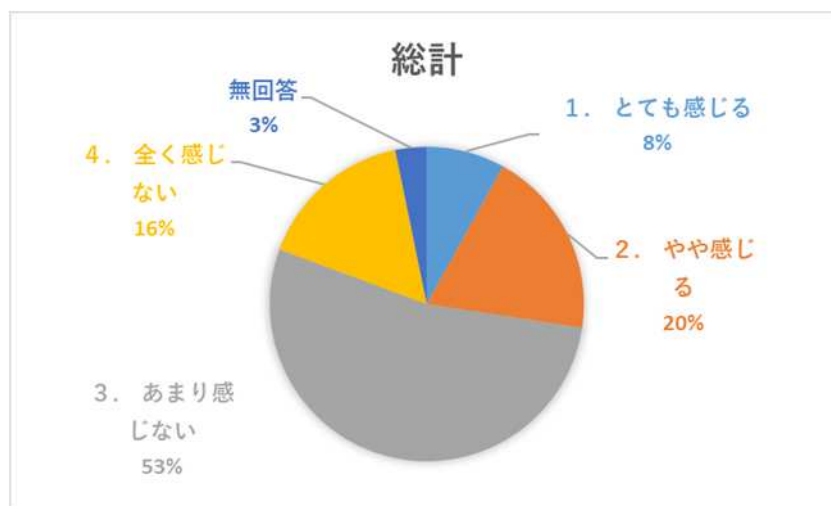
地域への広がり

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1. とても感じる	2	0	2	1	5
2. やや感じる	4	3	1	4	12
3. あまり感じない	9	9	9	6	33
4. 全く感じない	4	3	2	1	10
無回答	1	0	1	0	2
総計	20	15	15	12	62



【それぞれの回答割合（4中学校区合計）】



➤ 全体として、「あまり感じない」、「全く感じない」の計が62人中43人、69%を占める。

<(4)ウの と を比較して>

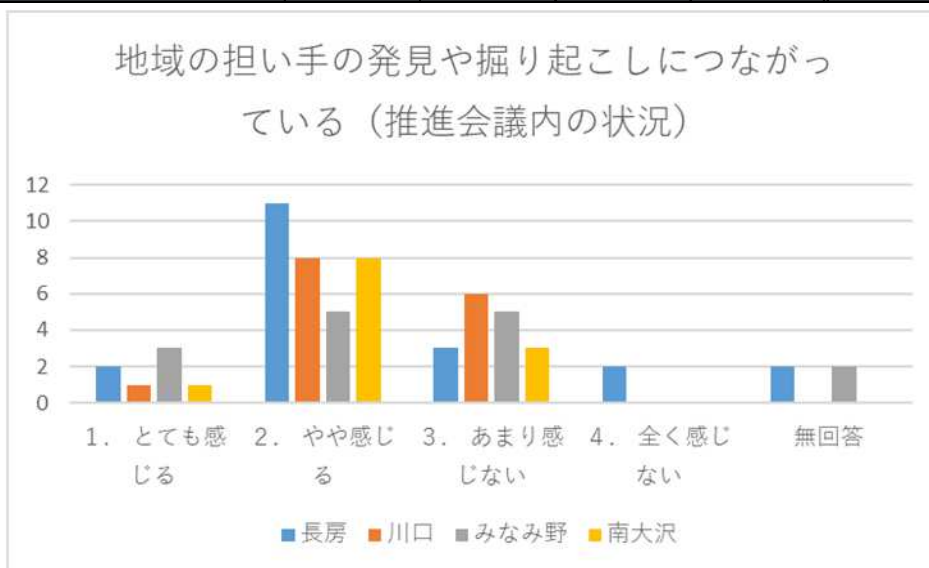
中学校区ごとややばらつきがあるものの、概ね推進会議の取組においては行政との調整や連携が図られてきていると言える。一方、他の設問と同様に、地域へ広がりという点では課題がある。

(4) - エ 地域の担い手の発見や掘り起こしにつながっている

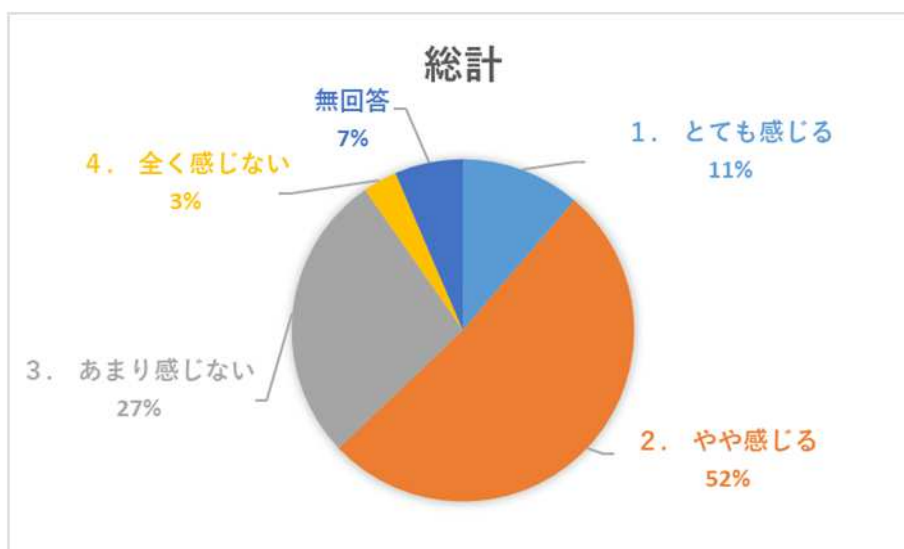
推進会議内の状況

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1. とても感じる	2	1	3	1	7
2. やや感じる	11	8	5	8	32
3. あまり感じない	3	6	5	3	17
4. 全く感じない	2	0	0	0	2
無回答	2	0	2	0	4
総計	20	15	15	12	62



【それぞれの回答割合（4中学校区合計）】

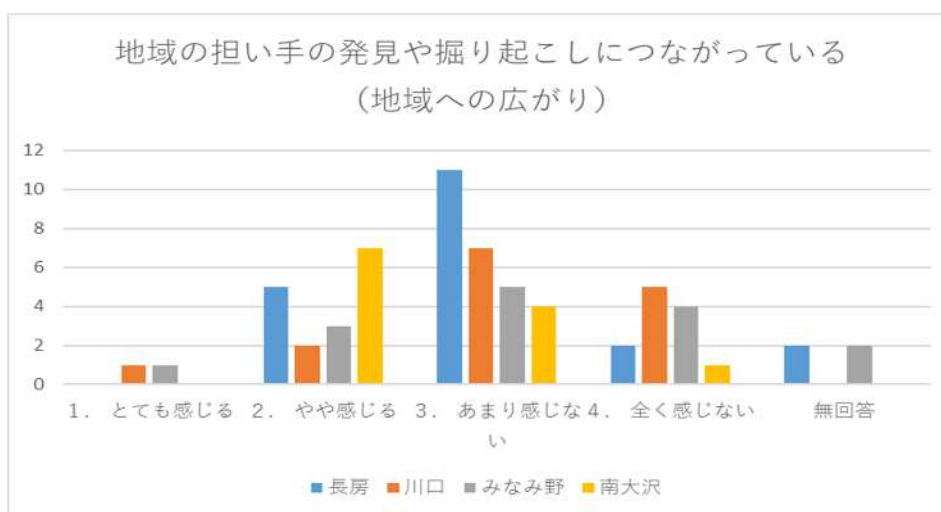


- 全体として、「とても感じる」、「やや感じる」の計が 62 人中 39 人、割合として 63% を占める。
- 「あまり感じない」、「全く感じない」の計は 62 人中 19 人、30% にとどまる。

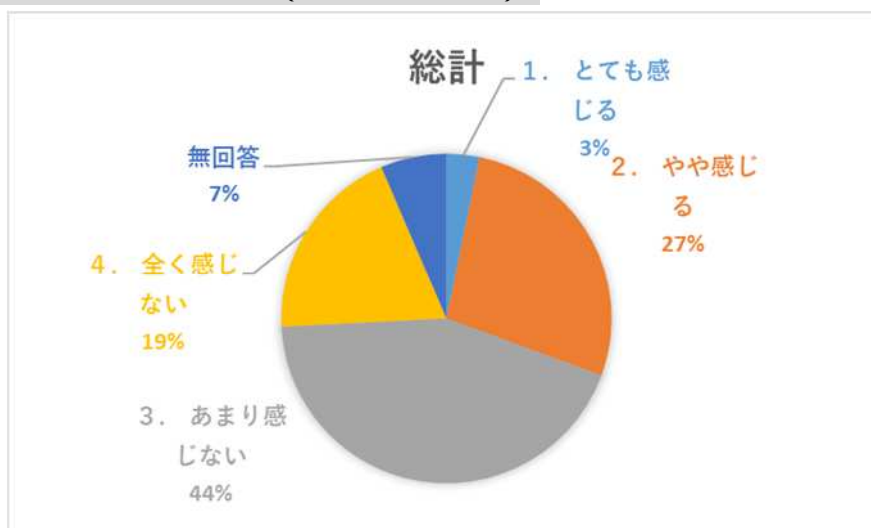
地域への広がり

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1. とても感じる	0	1	1	0	2
2. やや感じる	5	2	3	7	17
3. あまり感じない	11	7	5	4	27
4. 全く感じない	2	5	4	1	12
無回答	2	0	2	0	4
総計	20	15	15	12	62



【それぞれの回答割合（4中学校区合計）】



- 全体として、「あまり感じない」、「全く感じない」は62人中39人、割合として63%を占める。
- 「とても感じる」との回答は、62人中2人、割合として3%にとどまっている。

<(4)エのとを比較して>

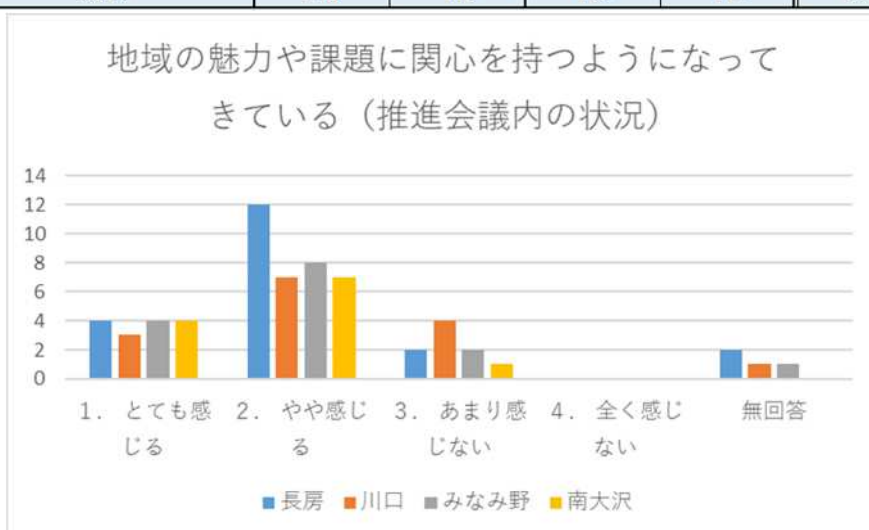
中学校区ごとややばらつきがあるものの、概ね推進会議の取組においては、地域の担い手の発見や掘り起こしにつながっていると言える。一方、他の設問と同様に、地域へ広がりという点では課題がある。

(4) - オ 地域の魅力や課題に関心を持つようになってきている

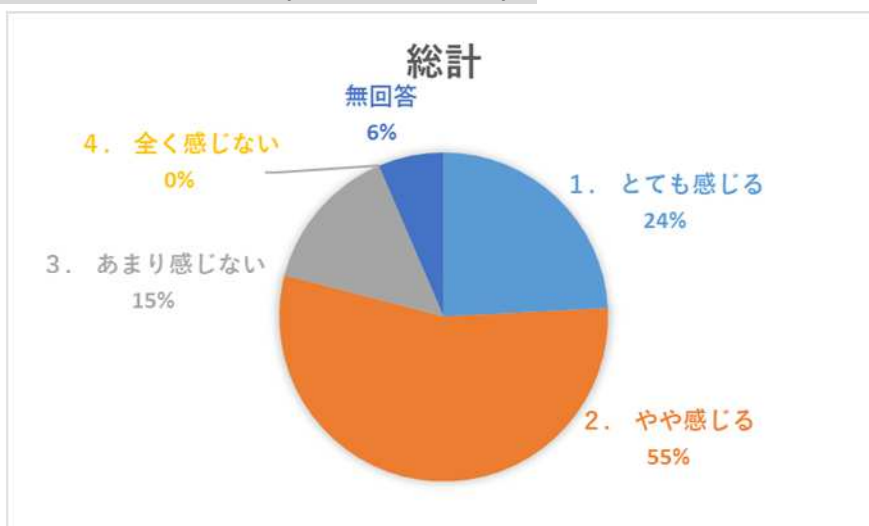
推進会議内の状況

【中学校区ごとの回答集計結果】

	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1. とても感じる	4	3	4	4	15
2. やや感じる	12	7	8	7	34
3. あまり感じない	2	4	2	1	9
4. 全く感じない	0	0	0	0	0
無回答	2	1	1	0	4
総計	20	15	15	12	62



【それぞれの回答割合（4中学校区合計）】

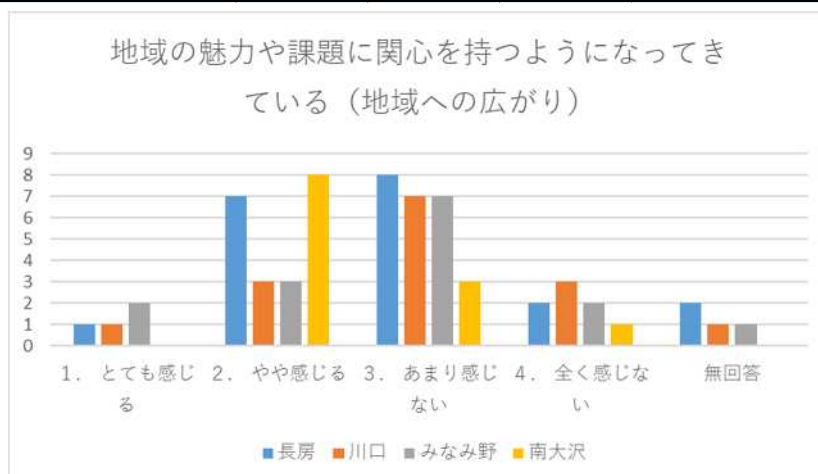


- 全体として、「とても感じる」、「やや感じる」の計が62人中49人、割合として79%を占める。これは、これまでの設問(ア～オ)において、もっとも高い割合である。
- 「全く感じない」と回答している人はいなかった。

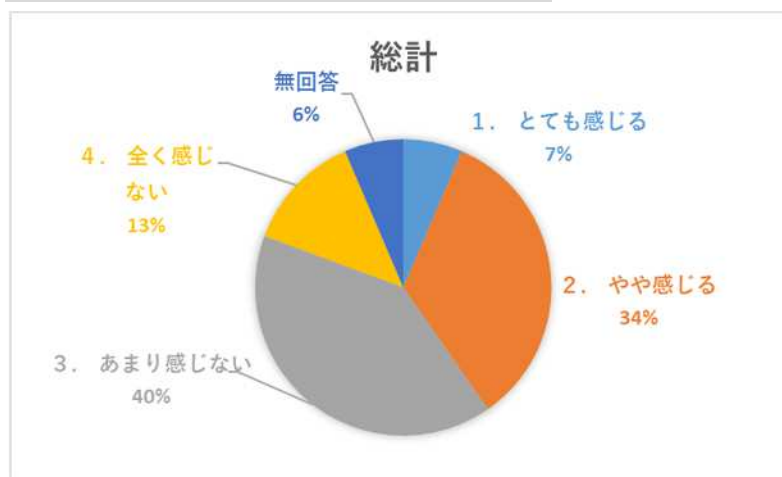
地域への広がり

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1. とても感じる	1	1	2	0	4
2. やや感じる	7	3	3	8	21
3. あまり感じない	8	7	7	3	25
4. 全く感じない	2	3	2	1	8
無回答	2	1	1	0	4
総計	20	15	15	12	62



【それぞれの回答割合（4中学校区合計）】



- 全体として、「あまり感じない」、「全く感じない」は 62 人中 33 人、53%を占める。
- 一方で、「とても感じる」、「やや感じる」の計が 62 人中 25 人、割合として 41%を占め、やや拮抗しているといえる。

<(4)エの と を比較して>

中学校区ごとややばらつきがあるものの、概ね推進会議の取組においては、地域の魅力や課題に関心を持つようになってきていると言える。地域へ広がりという点では課題があるが、他の設問と比較して、ポジティブな回答を行う割合が相対的に高く、推進会議の取組の成果として深められる可能性が高い。

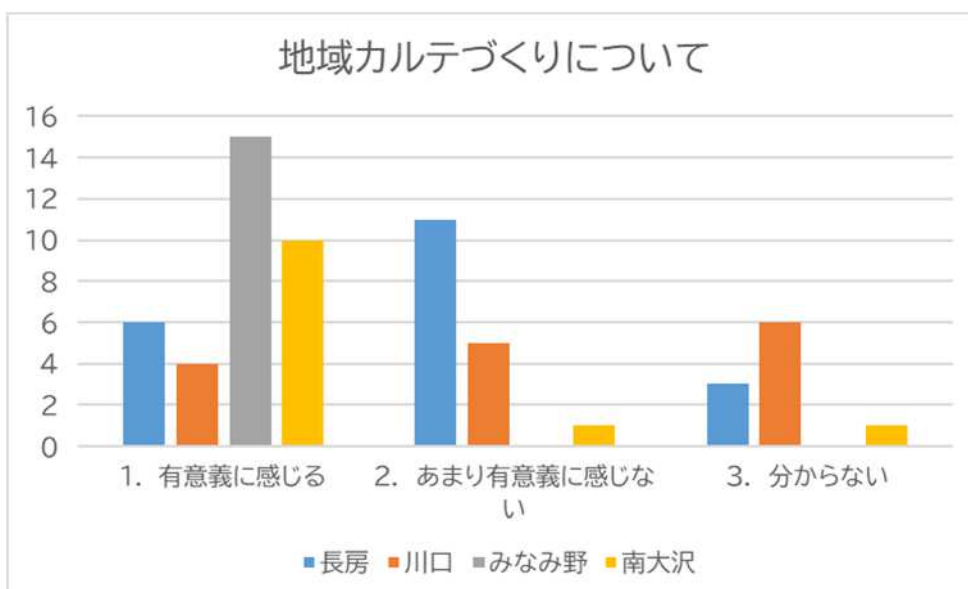
(5)あなたは、これまで推進会議で議論・検討を行ってきたことについて、どのように感じていますか。
 下記のア～オのそれぞれの項目について、あなたの感じ方に近いものを選んでください。(は1つだけ)

ア 地域の魅力や課題を把握、まとめる「地域カルテ」づくりについて

1 有意義に感じる	2 あまり有意義に感じない	3 分からない
-----------	---------------	---------

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1. 有意義に感じる	6	4	15	10	35
2. あまり有意義に感じない	11	5	0	1	17
3. 分からない	3	6	0	1	10
総計	20	15	15	12	62



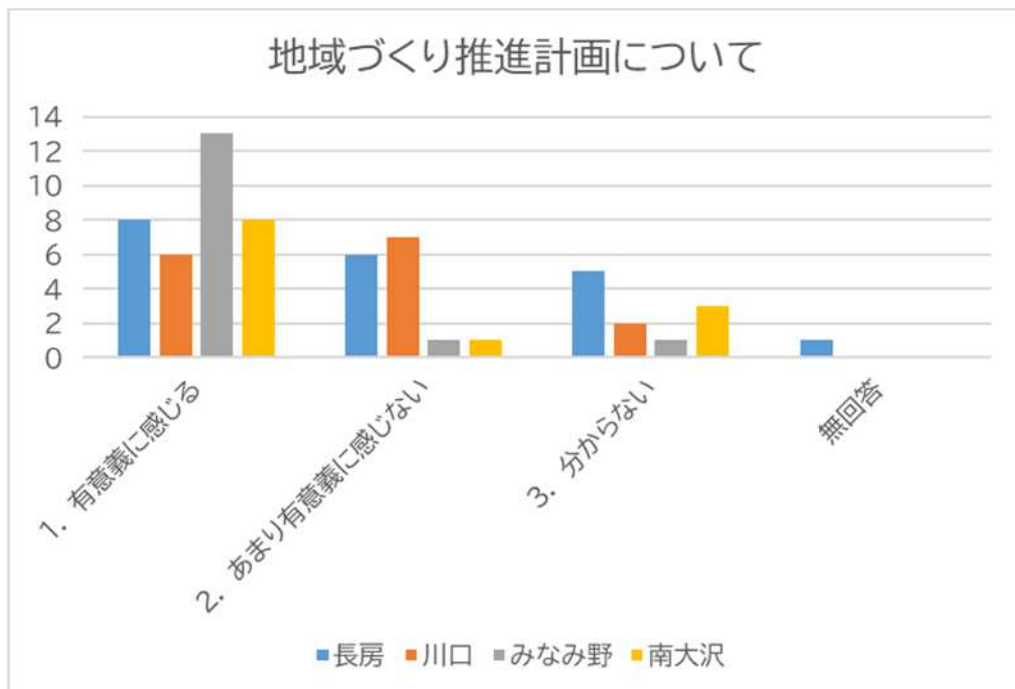
- 回答者全体の数としては、「有意義に感じる」が最も多いが、それぞれ10人以上が「あまり有意義に感じない」、「分からない」と回答している。
- 特に、長房及び川口中学校区においては、「あまり有意義に感じない」が「有意義に感じる」の回答数を上回っている。
- 一方で、みなみ野及び南大沢中学校区においては、南大沢の2人以外、全員が「有意義に感じている」としている。
- 地域ごとの違いについては、アンケート調査を行ったタイミングが影響していると考えられる。(みなみ野及び南大沢中学校区においては、令和5年度(2023年度)まで地域づくり推進計画の策定を行ってきたのに対し、長房及び川口中学校区においては、令和4年度(2022年度)までに推進計画の策定を完了させ、現在は計画に基づいた活動の実行段階にある。)
- 地域づくり推進計画に基づいた計画の実行段階においても、地域カルテの作成意義を理解できるような取組が必要であることを示唆している。

イ 地域の将来ビジョンの実現に向けた具体的な取組をアクションプラン(行動計画)としてまとめる「地域づくり推進計画」づくりについて

1 有意義に感じる	2 あまり有意義に感じない	3 分からない
-----------	---------------	---------

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1. 有意義に感じる	8	6	13	8	35
2. あまり有意義に感じない	6	7	1	1	15
3. 分からない	5	2	1	3	11
無回答	1	0	0	0	1
総計	20	15	15	12	62



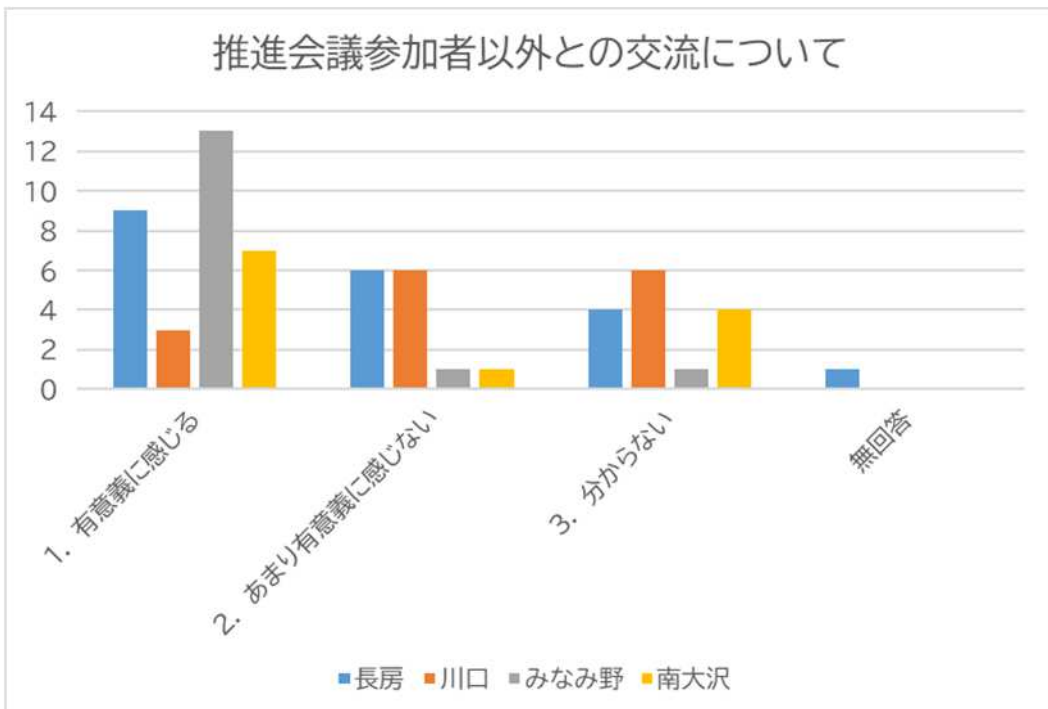
- 回答者全体の数としては、「有意義に感じる」が最も多いが、それぞれ10人以上が「あまり有意義に感じない」、「分からない」と回答している。
- 川口中学校区においては、「あまり有意義に感じない」が「有意義に感じる」の回答数をわずかに上回っている。
- 地域カルテの作成意義と同様に、地域ごとの違いについては、アンケート調査を行ったタイミングが影響していると考えられ、特に長房及び川口中学校区においては、地域づくり推進計画に基づいた計画の実行段階において、策定した計画の目的が不明確になってしまっている可能性がある。必要に応じて、計画の内容(ビジョンやアクションプランなど)を振り返る必要がある。

ウ ワークショップやフォーラムを通じた推進会議参加者以外との交流について

1 有意義に感じる 2 あまり有意義に感じない 3 分からない

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1. 有意義に感じる	9	3	13	7	32
2. あまり有意義に感じない	6	6	1	1	14
3. 分からない	4	6	1	4	15
無回答	1	0	0	0	1
総計	20	15	15	12	62



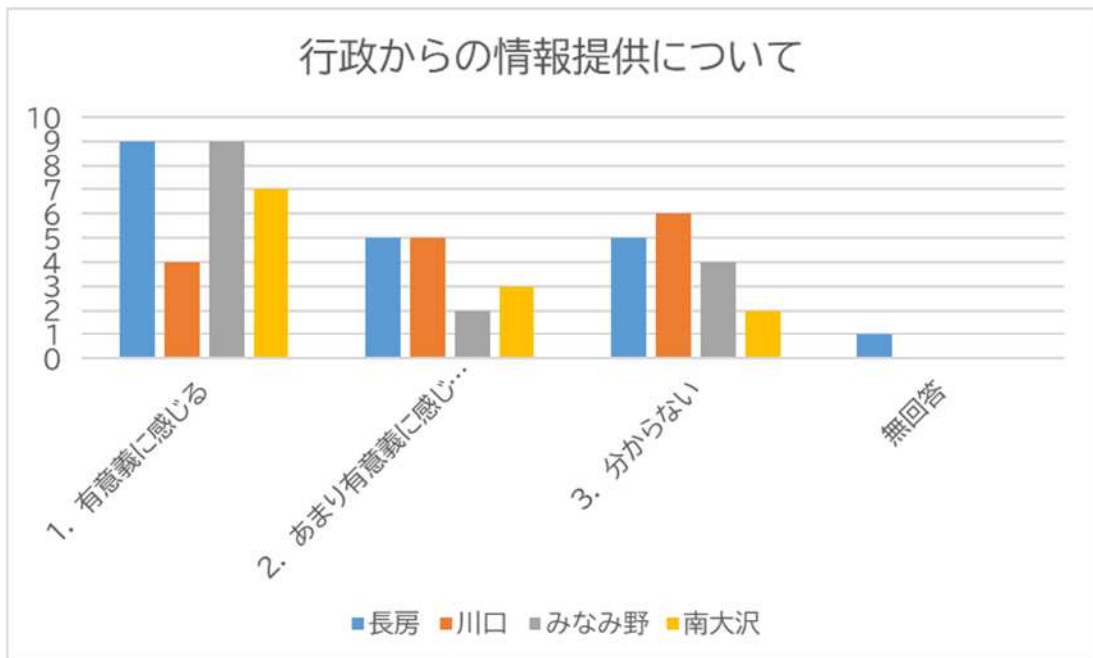
- 回答者全体の数としては、「有意義に感じる」が最も多いが、それぞれ 10 人以上が「あまり有意義に感じない」、「分からない」と回答している。
- 特に、川口中学校区においては、「あまり有意義に感じない」及び「分からない」の数が、「有意義に感じる」の回答数を大幅に上回っている。
- 川口中学校区は、他の地域と比較して、推進会議設置前から参加者以外との交流が一定程度あり、ワークショップやフォーラムによって推進会議参加者以外との新たな交流がなかなか広がらなかった可能性が推察される。

エ 行政からの施策やイベント等に関する情報提供について

1 有意義に感じる	2 あまり有意義に感じない	3 分からない
-----------	---------------	---------

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1. 有意義に感じる	9	4	9	7	29
2. あまり有意義に感じない	5	5	2	3	15
3. 分からない	5	6	4	2	17
無回答	1	0	0	0	1
総計	20	15	15	12	62



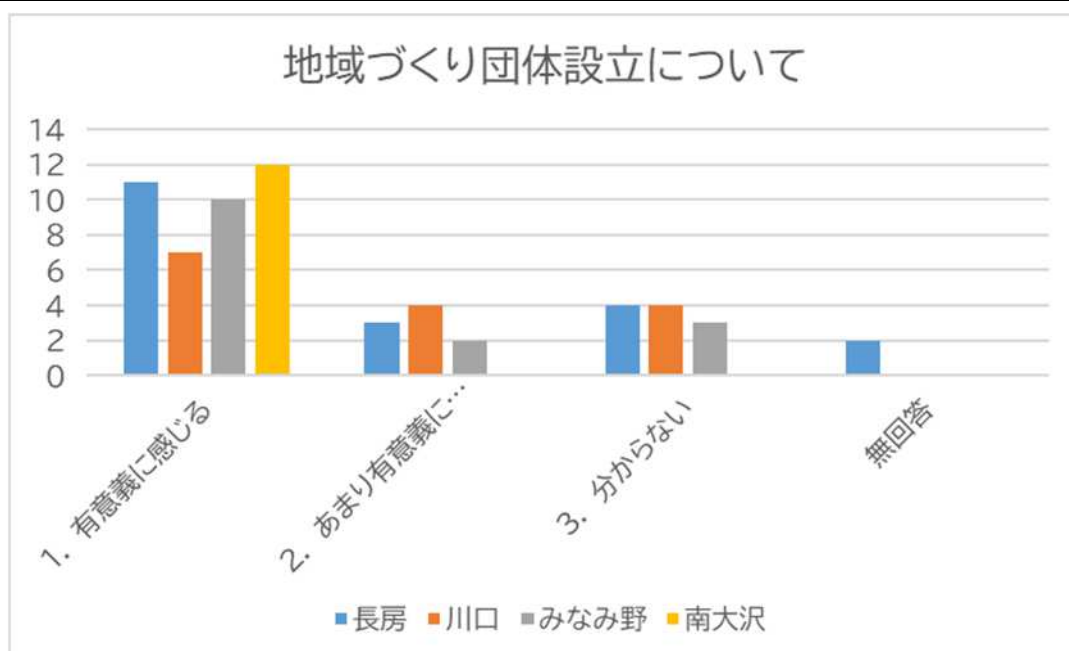
- 回答者全体の数としては、「有意義に感じる」が最も多いが、それぞれ10人以上が「あまり有意義に感じない」、「分からない」と回答している。
- 特に、川口中学校区においては、「あまり有意義に感じない」及び「分からない」の数が、「有意義に感じる」の回答数を上回っている。
- 川口中学校区は、他の地域と比較して、推進会議設置前から行政からの施策やイベント等に関する情報提供が一定程度あり、推進会議設置による成果としてなかなか感じづらかった可能性が推察される。

オ 地域の将来ビジョンの実現に向けた活動を行う「地域づくり団体」設立に向けた検討について

1 有意義に感じる	2 あまり有意義に感じない	3 分からない
-----------	---------------	---------

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1. 有意義に感じる	11	7	10	12	40
2. あまり有意義に感じない	3	4	2	0	9
3. 分からない	4	4	3	0	11
無回答	2	0	0	0	2
総計	20	15	15	12	62



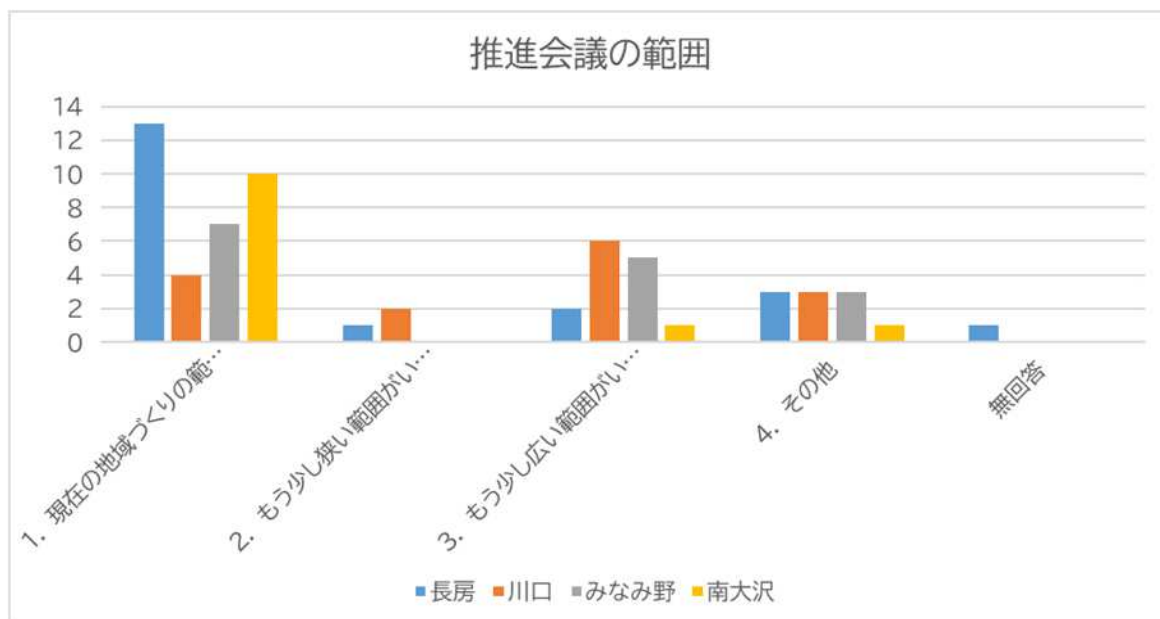
- 全体として、「有意義に感じる」が最も多く、前問までと比較しても、相対的にポジティブな回答が多い。
- 令和5年度(2023年度)に行った地域づくり推進会議の役割・機能の整理を踏まえ、「地域づくり団体」の必要性及び取組内容について、前向きに捉えていただいている参加者が多いことがうかがえる。

(6) あなたは、地域づくりを進めるに当たって、現在の推進会議の範囲について、どのように感じますか。あなたの感じ方に近いものを選んでください。(**は1つだけ**)

1 現在の地域づくりの範囲がいい (= 中学校区程度) 2 もう少し狭い範囲がいい (= 小学校区程度) 3 もう少し広い範囲がいい (= 合併前の旧町村の区域や現在 14 か所ある市民部事務所管内程度) 4 その他
その他：

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1. 現在の地域づくりの範囲がいい (= 中学校区程度)	13	4	7	10	34
2. もう少し狭い範囲がいい (= 小学校区程度)	1	2	0	0	3
3. もう少し広い範囲がいい (= 合併前の旧町村の区域や現在 14 か所ある市民部事務所管内程度)	2	6	5	1	14
4. その他	3	3	3	1	10
無回答	1	0	0	0	1
総計	20	15	15	12	62



- 全体として、「現在の地域づくりの範囲がいい」が最も多く、「狭くすべき」という意見は少ない。
- 川口中学校区においては、「もう少し広い範囲がいい」とも意見が最も多く、これは、檜原中学校区を含めたエリアにおいて推進会議を設置することを望む意見と考えられる。
- なお、「その他」10件の記載内容については、以下のとおりである。(一部)

- ・ ゆるやかな地域で考えるのが良い
- ・ 近い中学校区で一緒にやった方が良い
- ・ 近隣中学校と連携をする中学校区を基盤に地域ごとのつながりを精査して決めてほしい
- ・ 上手くいったら、さらに拡げてみては

(7) あなたは、推進会議の構成について、どのように感じますか。下記のア～オのそれぞれの項目について、あなたの感じ方に近いものを選んでください。また、「1 ちょうどよい」以外を回答した場合は、その内容をできるだけ具体的に記入してください。(**は1つだけ**)

ア 人数

1 ちょうどよい	2 ちょうどよいとは言えない
具体的な内容：	

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1. ちょうどよい	15	7	10	11	43
2. ちょうどよいとは言えない	3	8	4	1	16
無回答	2	0	1	0	3
総計	20	15	15	12	62

- 人数については、「ちょうどよい」が最も多い。
- 川口中学校区のみ、「ちょうどよいとは言えない」が最も多くなっている。
- 「ちょうどよいとは言えない」の具体的な内容は、以下のとおりである。(一部)

- ・ 少ないように思うが、話し合うには適切
- ・ 名簿上の人数は適切でも、実際に会議に参加できる人数は少ない
- ・ 中学校区の中でも、特定の地区地域の参加者が少ない

イ 男女比

1 ちょうどよい	2 ちょうどよいとは言えない
具体的な内容：	

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1. ちょうどよい	14	12	13	11	50
2. ちょうどよいとは言えない	3	2	2	1	8
無回答	3	1	0	0	4
総計	20	15	15	12	62

- 男女比についても、「ちょうどよい」が最も多い。
- 地域ごとに大きな違いや特徴は認められない。
- 「ちょうどよいとは言えない」の具体的な内容は、「女性が少ない」などであった。

ウ 年齢層

1 ちょうどよい	2 ちょうどよいとは言えない
具体的な内容：	

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1. ちょうどよい	4	5	2	3	14
2. ちょうどよいとは言えない	14	9	12	9	44
無回答	2	1	1	0	4
総計	20	15	15	12	62

- 年齢層については、「ちょうどよいとは言えない」が最も多く、顕著な結果となっている。
- 「ちょうどよいとは言えない」の具体的な内容は、以下のとおりである。(一部)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 若い世代(10、20、30代) ・ 子ども ・ 学生 ・ 若い男性

- 回答結果にもあるように、若い世代(10～30代など)や子ども、中高大学生等には、推進会議の取組を波及させることができず、この世代をどのように誘い込んでいくかは重要な課題である。

エ 構成団体

1 ちょうどよい	2 ちょうどよいとは言えない
具体的な内容：	

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1. ちょうどよい	9	6	7	6	28
2. ちょうどよいとは言えない	10	9	5	5	29
無回答	1	0	3	1	5
総計	20	15	15	12	62

- 構成団体については、「ちょうどよい」と「ちょうどよいとは言えない」がおおむね同数であった。
- 「ちょうどよいとは言えない」の具体的な内容は、以下のとおりである。(一部)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 町会・自治会系が少ない ・ 企業、学生、外国人が構成メンバーに入っていることがよい ・ PTAと町会関連が多い ・ 農業を行っている人や、自営業の人 ・ もっと幅広く ・ 町会会長(または代理)は全員参加

オ 参加者のつながり具合

1 ちょうどよい	2 強すぎる	3 弱すぎる
具体的な内容：		

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1. ちょうどよい	12	9	10	11	42
2. 強すぎる	0	1	0	0	1
3. 弱すぎる	6	3	3	0	12
無回答	2	2	2	1	7
総計	20	15	15	12	62

- 参加者同士のつながり具合については、「ちょうどよい」が最も多く、次いで「弱すぎる」が多い。
- 「弱すぎる」の具体的な内容は、以下のとおりである。(一部)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 仲間内しかつながっていない ・ 名前も知らない人もいる

(8) あなたは、推進会議の開催状況について、どのように感じますか。下記のア～エのそれぞれの項目について、あなたの感じ方に近いものを選んでください。(**は1つだけ**)

ア 会場

<ol style="list-style-type: none"> 1 引き続き現在の開催場所で行いたい (= 小中学校の教室) 2 小中学校以外の公共施設で開催してほしい (市民センターや市民集会所等) 3 その他
その他：

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1. 引き続き現在の開催場所で行いたい (= 小中学校の教室)	14	7	11	10	42
2. 小中学校以外の公共施設で開催してほしい (市民センターや市民集会所等)	3	5	2	2	12
3. その他	2	3	2	0	7
無回答	1	0	0	0	1
総計	20	15	15	12	62

- 「引き続き現在の開催場所で開催したい(小中学校の教室)」が、62人中42人と最も多い。
- 地域ごとに大きな違いや特徴は認められない。
- これまで推進会議に参加していただいている方々を対象にアンケートを行っているため、これまでの開催状況に疑問を感じづらいバイアスが働いている可能性も考えられる。

イ 開催回数

1 現在の開催回数が適切 (= 2 か月に一回程度)
2 もう少し回数を増やして開催してほしい (= 毎月一回程度)
3 もう少し回数を減らして開催してほしい (= 3 ~ 4 か月に一回程度)
4 その他
その他 :

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1. 現在の開催回数が適切 (= 2 か月に一回程度)	16	11	13	10	50
2. もう少し回数を増やして開催してほしい (= 毎月一回程度)	3	2	1	1	7
3. もう少し回数を減らして開催してほしい (= 3 ~ 4 か月に一回程度)	0	2	1	1	4
4. その他	1	0	0	0	1
総計	20	15	15	12	62

- 「現在の回数が適切(2か月に一回程度)」が、62人中50人と最も多い。
- 地域ごとに大きな違いや特徴は認められない。
- これまで推進会議に参加していただいている方々を対象にアンケートを行っているため、これまでの開催状況に疑問を感じづらいバイアスが働いている可能性も考えられる。

ウ もっとも参加しやすい曜日

1 月	2 火	3 水	4 木	5 金	6 土	7 日
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1. 月	0	0	1	0	1
2. 火	0	1	1	1	3
3. 水	1	0	2	0	3
5. 金	2	0	1	0	3
6. 土	14	8	7	6	35
7. 日	0	2	2	3	7
無回答	3	4	1	2	10
総計	20	15	15	12	62

- 「土曜日」が、62人中35人と最も多い。同じ休日の「日曜日」と比較しても、土曜日が圧倒的に多くなっている。
- これまで推進会議に参加していただいている方々を対象にアンケートを行っているため、これまでの開催状況に疑問を感じづらいバイアスが働いている可能性も考えられる。

エ もっとも参加しやすい時間帯

1 午前中	2 午後(13:00~17:00)	3 夜間(18:00~20:00)
-------	-------------------	-------------------

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1 午前中	16	9	9	8	42
2 午後(13:00~17:00)	1	4	3	1	9
3 夜間(18:00~20:00)	2	2	2	2	8
無回答	1		1	1	3
総計	20	15	15	12	62

- 「午前中」が、62人中42人と最も多い。
- これまで推進会議に参加していただいている方々を対象にアンケートを行っているため、これまでの開催状況に疑問を感じづらいバイアスが働いている可能性も考えられるが、曜日を含めて、午後以降にプライベートな用事・予定を検討しやすいといった事情が推察される。

(9) あなたは、現在、地域団体等に所属していますか。所属している場合、当てはまる番号全てに○をつけてください。また、団体に所属はしていないが、参加している地域活動があれば、「その他」に記載してください。(はいくつでも)

1 町会自治会	8 地域福祉団体
2 住民協議会	9 市民環境団体
3 民生委員児童委員協議会	10 商工会議所・青年会議所
4 青少年対策地区委員会	11 地域づくり推進会議
5 学校運営協議会・小中学校 P T A	12 高校・大学・大学院・専門学校
6 消防団	13 その他
7 市民活動団体 (N P O 法人)	

その他：

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1.町会自治会	11	9	6	3	29
2.住民協議会	4	3	2	2	11
3.民生委員児童委員協議会	6	0	2	1	9
青少年対策地区委員会	7	4	4	3	18
5.学校運営協議会・小中学校 P T A	12	7	4	5	28
6.消防団	1	0	1	0	2
7.市民活動協議会 (N P O 法人)	1	3	6	2	12
8.地域福祉団体	3	4	1	1	9
9.市民環境団体	0	0	1	1	2
10.商工会議所・青年会議所	0	0	0	1	1
11.高校・大学・大学院・専門学校	1	0	0	0	1
12.その他	1	2	7	1	11
総計	47	32	34	20	133

- 推進会議参加者の所属団体は、「町会自治会」「学校運営協議会・小中学校 P T A」「青少年対策地区委員会」の順に多い。
- 地域ごとにみると、多少のばらつきはあるが、いずれの中学校区においても「町会自治会」が「学校運営協議会・小中学校 P T A」のどちらかが最多を占めていることが分かる。

(10) 前問のうち、あなたが現在積極的に関わっている団体(「その他」で活動を記載した場合はその活動も含まれます。)を最大2つ選んでください。(は2つまで)

1 町会自治会	8 地域福祉団体
2 住民協議会	9 市民環境団体
3 民生委員児童委員協議会	10 商工会議所・青年会議所
4 青少年対策地区委員会	11 地域づくり推進会議
5 学校運営協議会・小中学校PTA	12 高校・大学・大学院・専門学校
6 消防団	13 その他
7 市民活動団体(NPO法人)	
その他：	

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1. 町会自治会	8	10	2	4	24
2. 住民協議会	2	2	0	1	5
3. 民生委員児童委員協議会	6	0	1	1	8
4. 青少年対策地区委員会	6	1	1	2	10
5. 学校運営協議会・小中学校PTA	10	4	2	4	20
6. 消防団	1	0	0	0	1
7. 市民活動団体(NPO法人)	1	2	5	2	10
8. 地域福祉団体	1	3	1	1	6
9. 市民環境団体	0	0	2	1	3
10. 商工会議所・青年会議所	0	0	0	0	0
11. 地域づくり推進会議	3	3	2	1	9
12. 高校・大学・大学院・専門学校	1	0	0	0	1
13. その他	1	1	6	0	8
総計	40	26	22	17	105

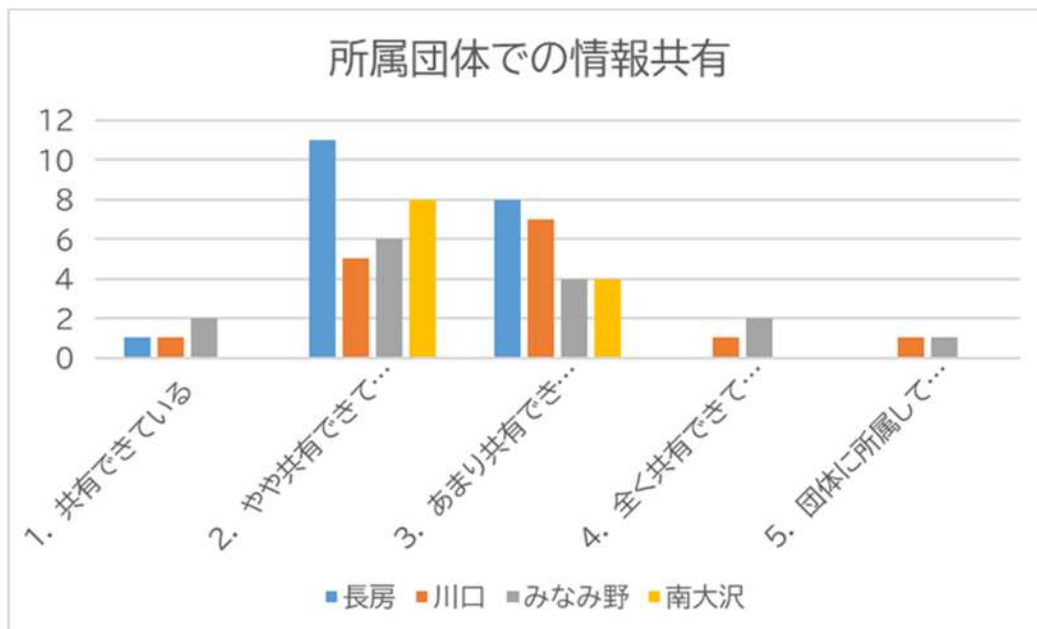
- 現在積極的に関わっている団体で最も多いのは、「町会自治会」、次いで「学校運営協議会・小学校 PTA」となっており、所属団体と同様の傾向にある。
- いずれの中学校区においても、「地域づくり推進会議」を積極的に関わっている団体として選択している回答が1以上あった。

(11) 推進会議で、議論・検討された内容は、所属団体に情報共有されていますか。(は1つだけ)

1 共有できている	2 やや共有できている	
3 あまり共有できていない	4 全く共有できていない	5 団体に所属していない

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1. 共有できている	1	1	2	0	4
2. やや共有できている	11	5	6	8	30
3. あまり共有できていない	8	7	4	4	23
4. 全く共有できていない	0	1	2	0	3
5. 団体に所属していない	0	1	1	0	2
総計	20	15	15	12	62

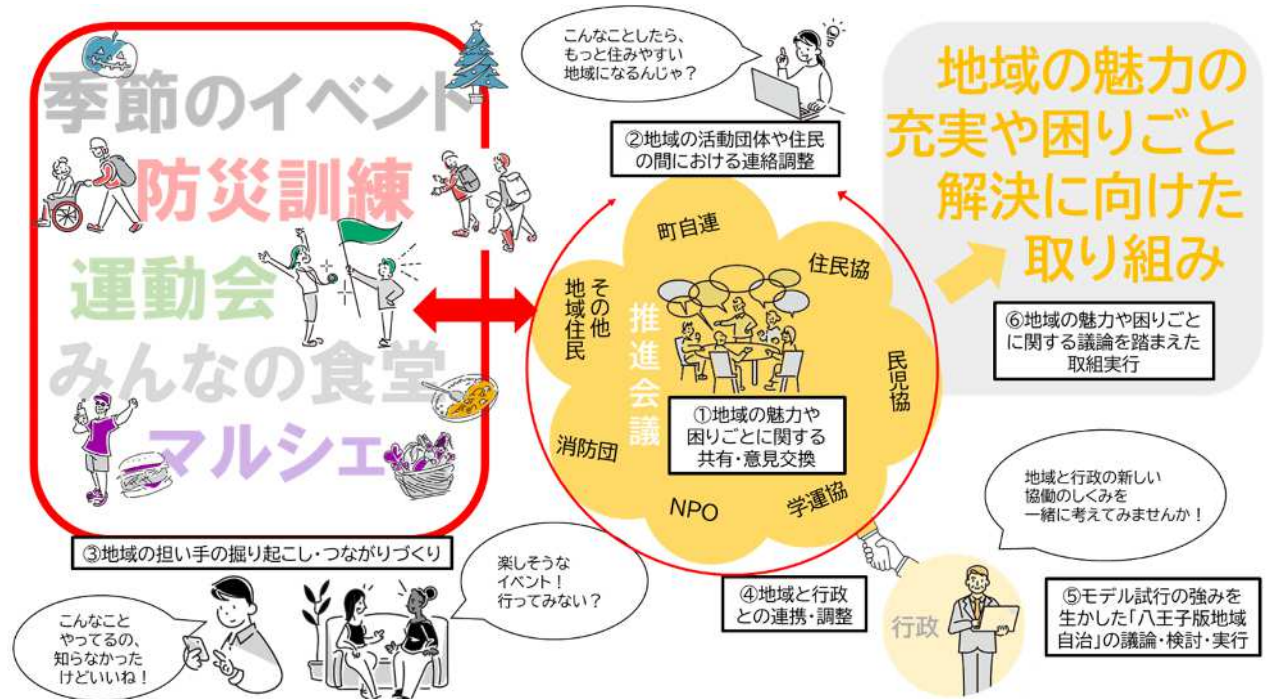


- 全体としては、「やや共有できている」が最も多く、次いで「あまり共有できていない」が多くなっている。
- 川口中学校区のみ、「あまり共有できていない」という回答が「やや共有できている」の回答数を上回っている。

(12)あなたが参加する推進会議で今後、最も時間をかけて行うべきと考える議論・検討項目を選んでください。(は1つだけ)

- 1 地域の魅力や困りごとに関する共有・意見交換
- 2 地域の活動団体や住民の間における連絡調整
- 3 地域の担い手の掘り起こし・つながりづくり
- 4 地域と行政との連携・調整
- 5 モデル試行の強みを生かした「八王子版地域自治」の議論・検討・実行
- 6 地域の魅力や困りごとに関する議論を踏まえた取組実行

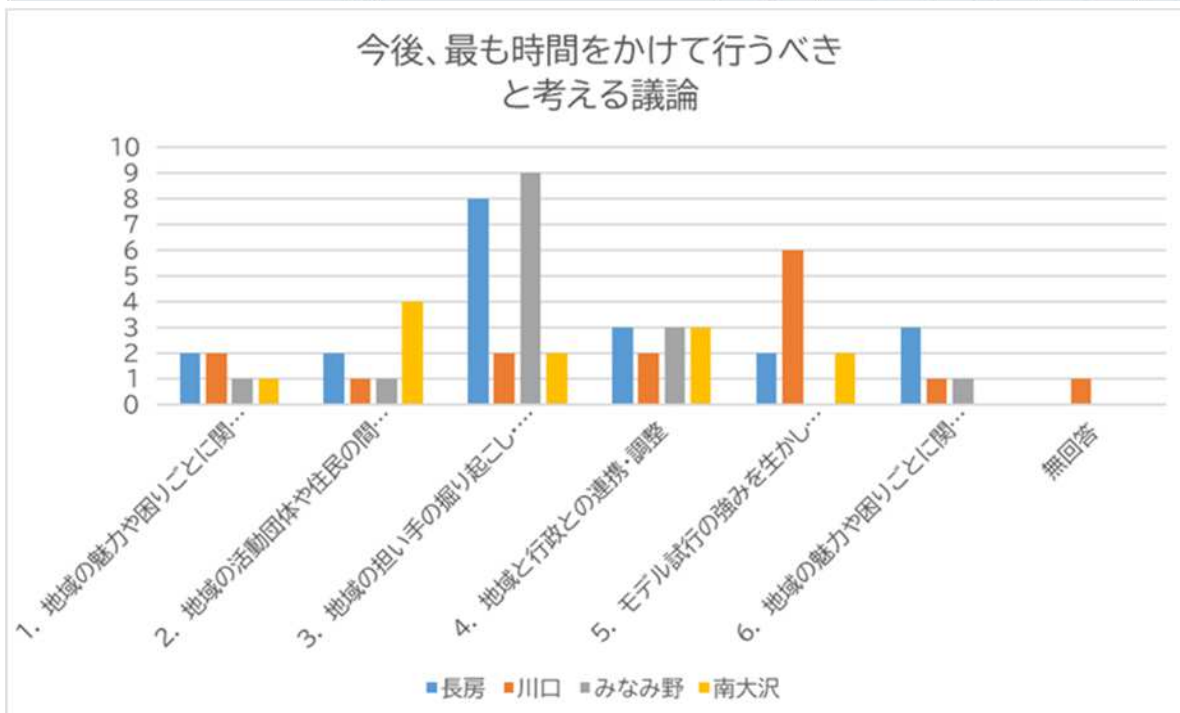
参考解説 それぞれの項目は、これまでに、あるいは、これから推進会議が担う役割・機能が発揮する成果として、1から6まで概ね順に拡大していくことを基本に設定しており、下のイメージ図のなかでそれぞれ から で表現しています。



(結果は、次ページ掲載)

【中学校区ごとの回答集計結果】

選択肢	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1. 地域の魅力や困りごとに関する共有・意見交換	2	2	1	1	6
2. 地域の活動団体や住民の間における連絡調整	2	1	1	4	8
3. 地域の担い手の掘り起こし・つながりづくり	8	2	9	2	21
4. 地域と行政との連携・調整	3	2	3	3	11
5. モデル試行の強みを生かした「八王子版地域自治」の議論・検討・実行	2	6	0	2	10
6. 地域の魅力や困りごとに関する議論を踏まえた取組実行	3	1	1	0	5
無回答	0	1	0	0	1
総計	20	15	15	12	62



- 全体としては、「地域の担い手の掘り起こし・つながりづくり」が 62 人中21人で最も多く、中学校区別に見ても、長房及びみなみ野中学校区において、最も多い。
- 川口中学校区においては、「モデル試行の強みを生かした『八王子版地域自治』の議論・検討・実行」が最多となっている。

(13) 推進会議で取り組んでいくべきテーマや課題、その他の要望等がありましたら、自由にお書きください。(自由記述)

➤ 自由記述として記載のあった内容は、次のとおりである。(一部)

- ・ 行政との連携・調整が大切
- ・ 地域推進の目的をはっきりとすべき
- ・ 子どものいる方から「自分の子どもが大きくなる地域がどう変わっていくか知りたい、関わりたい」という意見も聞く。子育て中の方たちのお話を聞ける時間帯での開催などもあれば良い
- ・ 世代交流の語らいの居場所、人と人をつなげる・結ばれる居場所作りに取り組んでほしい
- ・ 学校・公園の活用をもっと真剣に取り組んでいけば道が開けると思う
- ・ 若者に参加してもらうには、ワクワクする活動を継続的に続ける必要がある
- ・ 地域課題についての話し合いをすべき
- ・ 情報の届け方、参加したい仕組みづくりを考える必要がある
- ・ 参加者の固定化が心配(中学生、高校生、大学生等の参加を)
- ・ 多世代の意見が必要なので、積極的にアピールを
- ・ 一部が中心な感じに思える
- ・ どうすれば参加しやすい組織にできるのか、論議を重視したい
- ・ このようなアンケートを無作為に広く市民にしてほしい
- ・ 興味、関心、意欲はあるが参加の方法がわからない次代の担い手がいるはず、掘り起こしを
- ・ 地域自治を持続的な活動にするためには、若者を含めた担い手が必要
- ・ 世代ごとに課題も違うので、多世代が参加しやすい場所やイベントがあるとよい
- ・ 年齢層・属性の幅が狭く、何度か同じ話が出て、時間の効率が悪いと感ずることがある
- ・ 構成メンバーの幅を広げる(若者、学生、企業)ことで発想がもっと広がるとよい
- ・ 一部の自己満足ではなく、広い範囲での情報共有と自治体・住民へのつながりを大切にしていきたい
- ・ 最優先で取り組むべきは地域自治について
- ・ 組織を新しく作らず、今ある組織を活用して行う方法が必要
- ・ 高齢者で生活に困っている人が増えている。住民で支えていきたいと思うので、行政と住民とのつながりの強化をしたい